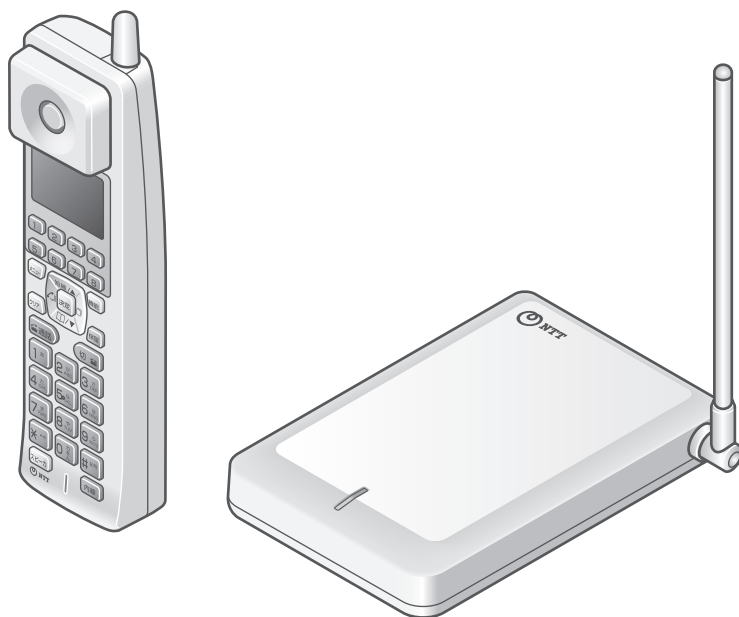


DECT 方式コードレス電話機 取扱説明書

このたびは、スマートネットコミュニティ
αZX DECT方式コードレス電話機をお買い求め
いただきまして、まことにありがとうございます。
ます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお
読みのうえ、内容を理解してからお使いくだ
さい。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどい
つも手もとに置いてお使いください。









安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

注意

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

ご使用にあたってのお願い

- この取扱説明書は、スマートネットコミュニティα ZXシリーズの全主装置タイプ(S/M/L/Home)で共通です。
- この取扱説明書は、主装置タイプについてはS/Mタイプと接続した場合を例として説明しています。
- 本商品の画面表示や確認音は主装置タイプによって異なる場合があります。詳しくは各主装置の取扱説明書をご覧ください。
- この取扱説明書は、DECT方式スターコードレス電話機およびDECT方式IPコードレス電話機両方で共通です。
- この取扱説明書でのDECT方式コードレス電話機は、DECT方式スターコードレス電話機およびDECT方式IPコードレス電話機両方を指します。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品・技術を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続をおとりください。
IMPORTANT NOTICE
In case you are intending to export this product and/or technology to overseas. You are responsible to verify and comply with Foreign Exchange and Foreign Trade Act in Japan, Export control laws of the United States, and other export related restrictions, and follow the necessary procedures and/or approval prior to export.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録音などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品の設置工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 主装置や電話機を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- この取扱説明書とともに、必ず接続している主装置の取扱説明書をよく読み理解したうえでお使いください。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

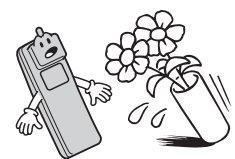
⚠ 危険

- 電池パックの充電は、本商品に装着し、専用の充電台を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、プラス（赤）・マイナス（黒）の向きが決められています。本商品に接続するときは、コネクターの向きを確かめて正しく差し込んでください。間違った接続をすると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。本商品以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、次のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
 - ・火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・直接はんだ付けしない。
 - ・プラス（赤）・マイナス（黒）を針金などの金属類で接触しない。
 - ・電池カバーを取り付けるとき、電池パックのコードを挟まない。
 - ・外装チューブ（被覆）をはがしたり、傷つけない。
 - ・水や海水につけたり、ぬらさない。
 - ・ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない。
 - ・針を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたり、投げつけない。
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

設置について

⚠ 警告

- 本商品、電源アダプター、電話機用コンセントおよび電話機コード、電話機コードのモジュラープラグまたはLANケーブル、LANケーブルのコネクターのそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品、電源アダプター、電話機用コンセントおよび電話機コード、電話機コードのモジュラープラグまたはLANケーブル、LANケーブルのコネクターに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



安全にお使いいただくために必ずお読みください



●本商品や電源アダプター、電話機コードまたはLANケーブルを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所。
- 湿気の多い場所や水・油・薬品などがかかる恐れがある場所。
- ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所。
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。

●次のような場所で設置・使用しないでください。

- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しないでください。誤動作するなどの原因となることがあります。

●DECT方式コードレス接続装置を天井に設置する場合は、次のことを守ってください。装置の故障・落下によるけがの原因となることがあります。

- DECT方式コードレス接続装置の重量に耐える十分な天井強度があることを確認してください。天井強度が不足している場合は、十分な補強を行ってください。
- 付属の天井設置用ブラケットを使用して、DECT方式コードレス接続装置を確実に取り付けてください。
- DECT方式コードレス接続装置や天井設置用ブラケットにぶら下がったり、物を吊り下げたりしないでください。
- DECT方式コードレス接続装置の電話機コードまたはLANケーブルを強く引っ張らないでください。
- 天井設置用ブラケットやねじのさびつき、ねじの緩みがないか定期的に点検を行ってください。

●お客様の用意された機器を主装置および電話機に接続してお使いになる場合は、あらかじめ当社のサービス取扱所に確認してください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。

お取り扱いについて



●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐにDECT方式コードレス接続装置の電話機コードまたはLANケーブルをそれぞれ電話機コード差込口またはLANポートから抜き、DECT方式コードレス電話機は充電をやめ、充電台の電源アダプターを電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、本商品内部や電源アダプターおよび電話機コード、電話機コードのモジュラープラグまたはLANケーブル、LANケーブルのコネクターに異物や水などが入った場合は、DECT方式コードレス電話機は充電をやめ、電源プラグや電源アダプターおよび電話機コードまたはLANケーブルをそれぞれ電源コンセントおよび電話機コード差込口またはLANポートから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、電話機コードのモジュラープラグまたはLANケーブルのコネクターがぬれた場合は、乾いても、使用しないでください。

警告

●本商品から異常音がしたり、熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐにDECT方式コードレス接続装置の電話機コードまたはLANケーブルをそれぞれ電話機コード差込口またはLANポートから抜き、DECT方式コードレス電話機は充電をやめ、充電台の電源アダプターを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。

●本商品や電源アダプターおよび電話機コード、電話機コードのモジュラープラグまたはLANケーブル、LANケーブルのコネクターに水をかけたり、ぬれた手で本商品の操作や電源プラグ、電源アダプター、電話機コードのモジュラープラグの抜き差しまたはLANケーブルのコネクター抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



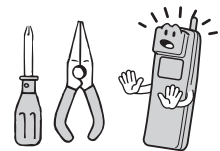
●本商品のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐにDECT方式コードレス接続装置の電話機コードまたはLANケーブルをそれぞれ電話機コード差込口またはLANポートから抜き、DECT方式コードレス電話機は充電をやめ、充電台の電源アダプターを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●充電台の充電部に、コインや指輪、クリップなどの金属類を置かないでください。金属類が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。



●万一、本商品の内部に水などの液体が入った場合、すぐにDECT方式コードレス接続装置の電話機コードまたはLANケーブルをそれぞれ電話機コード差込口またはLANポートから抜き、DECT方式コードレス電話機は充電をやめ、充電台の電源アダプターを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

●本商品を分解、改造しないでください。本商品の改造は、電波法に抵触するおそれがあります。また、火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。



●電源は、AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

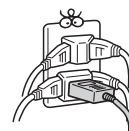
警告

● DECT方式コードレス接続装置の電話機コードまたはLANケーブル、およびDECT方式コードレス電話機の電源アダプターコード類を、傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電話機コードおよび電源アダプターコード類が破損し、火災・感電の原因となることがあります。電話機コードまたはLANケーブル、および電源アダプターコード類が傷んだら、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



● 電源アダプターは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプターを電源コンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

● テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 電源アダプターコードおよび電話機コードまたはLANケーブルが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプターを電源コンセントから抜き、DECT方式コードレス接続装置の電話機コードまたはLANケーブルをそれぞれ電話機コード差込口またはLANポートから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

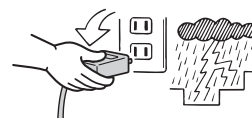
● 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

● 本商品をねじったり、重いものをのせたり、強く押し付けたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。

● 本商品やLANケーブル、電源アダプターコード、電話機コード類を熱器具に近づけないでください。本商品や電源アダプターコードおよびLANケーブルまたは、電話機コード類の被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品は、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域では、電源を切るか持ち込まないでください。電子機器や医療機器に影響を与え事故の原因となることがあります。

● 近くに雷が発生したときは、すぐに本商品から電源アダプターおよび電話機コードまたはLANケーブルをそれぞれ電源コンセントおよび電話機コード差込口またはLANポートから抜いて、ご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。



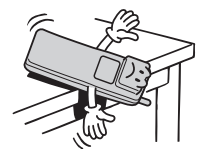
警告

- 歩行中に、絶対にDECT方式コードレス電話機を操作したり、見たりしないでください。転倒、事故などの原因となることがあります。
- 本商品で指定されていない電池パックは使用しないでください。指定以外の電池パックを使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 一般のゴミとして廃棄しないでください。火災・けがの原因となることがあります。廃棄するときは、販売店にご相談ください。
- 本商品に火の気を近づけたり、加熱しないでください。発熱・破裂し、火災・けがの原因となることがあります。
- DECT方式コードレス電話機はIPX4相当の防水性能（電池カバーが完全に装着された状態）（当社試験方法による）を備えております。IPX4相当とは、10リットル/分の水を表面積1m²当たり1分、最低5分以上散水する条件で、あらゆる方向からの散水によっても電話機としての性能を保つことを意味します。
水中に落下させたり、常温の真水・水道水以外の液体（石鹼・洗剤・入浴剤・温泉・熱湯・アルコールなど）または強い流水（10リットル/分を超える）を掛けたりしないでください。
- 電池カバーは確実に取り付け、完全に閉じていることを確認してください。また、接触面に微細なゴミ（髪の毛、繊維くず、土や砂など）が挟まると浸水の原因になりますので必ず取り除いてください。
- 手やDECT方式コードレス電話機がぬれている状態での充電ならびに電池カバーの開閉は絶対に行わないでください。漏電して、発熱・発火・感電・傷害・故障などの原因となることがあります。
- DECT方式コードレス電話機以外の本体・添付品は防水性能を備えておりません。

設置について

注意

- 本商品は次のような場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
 - ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所。
 - ・振動、衝撃の多い場所。

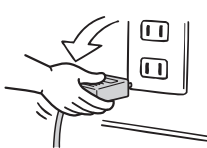


- DECT方式コードレス接続装置や充電台を壁掛け設置する場合は、しっかりと固定設置してください。固定が不十分な場合、落下、転倒の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お取り扱いについて

注意

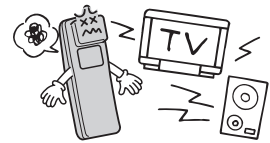
- 本商品の上に重い物をのせないでください。バランスがくずれて落下やけがの原因となることがあります。
- 本商品の充電台底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプターを電源コンセントから抜いてください。また、DECT方式コードレス電話機の電池パックも取り出してください。
- 本商品をお手入れするときは、安全のため必ず電話機コードまたはLANケーブルをそれぞれ電話機コード差込口またはLANポートから抜いて行ってください。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、壊したりして、けがの原因となることがあります。
- 本商品は高度な技術によって構成された精密機器です。より安心して使用していただくためには、当社の定期点検をお受けすることをお勧めします。詳しくは、当社のサービス取扱所にお問い合わせください。
- 電源アダプターを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプターコード先端を持って抜いてください。また、電源アダプターコードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- DECT方式コードレス接続装置のアンテナにご注意ください。誤ってアンテナが目にあたると、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは約2年で交換してください。長期間電池パックを装着したままでご使用になると、液もれによるトラブルが発生する場合があります。
- 電池パックは、事故防止のため、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。

設置について

STOP

お願い

●本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカー、テレビ、CSデジタル放送受信機、ラジオ、ファックス、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバーターエアコン、電磁調理器など）。



- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。
- テレビ、CS デジタル放送受信機、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- CS デジタル放送受信機はシールド性の高いCS・BS 対応の分波器、分配器、接続ケーブルを使用してください。
- 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。電波が強すぎるときは、本商品が使用できないことがあります。

●トラックや自動車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。

●金属製家具などの近くへの設置は避けてください。電波が飛びにくくなります。

●周囲の環境（壁、家具など）によっては使用範囲が狭くなります。

- 本商品の DECT 方式コードレス電話機からの通話圏外警報音とディスプレイのアンテナマークで電波の強さを確認し、通話できる範囲を確かめてください。

●本商品を設置するときは、主装置から3m以上、他のDECTコードレス製品から1m以上離してお使いください。

●本商品を汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。

●硫化水素が発生する場所（温泉地）や塩分の多いところ（海岸）、亜硫酸ガスが発生する場所（工業地域の大気汚染環境）、アンモニアが発生する場所（工場内、下水処理場などの汚染環境）などでは、本商品の寿命が短くなる場合があります。

●アンテナの近くに他の機器の電源アダプター、充電台および電源コードなどを近づけると、音声途切れたり聞きとりにくくなる場合がありますので離してください。

●補聴器をお使いの場合、補聴器の種類によってはDECT方式コードレス電話機でお話中に雑音が入ることがあります。

●本商品は平らな面に置いてお使いください。不安定な場所に置くと、落下や故障の原因となることがあります。

●電磁誘導による充電の方式をとっています。

- 本商品を AM ラジオの近くに置かないでください。AM ラジオに雑音が入ることがあります。
- 電磁波や磁力を出すもの（テレビ、スピーカーなど）の近くに置かないでください。充電できない場合があります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お取り扱いについて

STOP お願い

●本商品をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、電話機コードのモジュラープラグ部分またはLANケーブルのコネクター部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。



●本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



●本商品の電話機コードまたはLANケーブルを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

●充電台の充電部にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気に弱いものを近づけないでください（充電部からの磁力線により、磁気に弱いものは使えなくなる可能性があります）。



●本商品のアンテナを伸ばしたり縮めたりすることはできません。アンテナを無理に引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

●本商品のDECT方式コードレス電話機を充電台から外しておくときは、外線ランプ、内線ランプが消えていることを確認してください。ランプがついていると、電話がかかってきても受けられません。

●本商品と他の内線電話機が近いと雑音が入ることがあります。他の内線電話機から離してお使いください。

●本商品のDECT方式コードレス電話機は充電を必要としますので、ご使用にならないときは、確実に充電台に置き、DECT方式コードレス電話機のディスプレイ表示の電池残量表示が点滅していることを確認してください。

●DECT方式コードレス電話機に残量が少なくなった電池を入れたまま、長時間充電しないで放置すると、電池が消耗し、充電できなくなることがあります。その場合、電池の交換が必要になります。

●ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

STOP

お願い

- ナンバー・ディスプレイを利用して着信拒否を設定している場合は、緊急の件でも着信音は鳴りませんのでご注意ください。
- 本商品は、デジタル信号を利用した通話を傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。この点に十分配慮してご使用ください。
- 本商品をご使用中、本商品を触ると温かく感じるがありますが、故障ではありませんので、安心してご使用ください。
- 充電は周囲温度5℃～35℃の範囲で行ってください。正常に充電できない場合があります。
- 充電するときは、DECT方式コードレス電話機の背面が充電台にあたるように置いてください。DECT方式コードレス電話機が手前に傾いた姿勢で置かれていると、正常に充電できない場合があります。
- 本商品のボタンを、強く押しすぎないようにしてください。故障や誤入力の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

電波について

本商品は、1.9 GHz 帯を使用する時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話機です。

本商品には、それを示す右のマークが張り付けられています。

1.9-D

下記の内容に注意してください。

- ラジオ、テレビ、その他無線機器およびアンテナ線から3 m以上離してください。雑音や映像の乱れの原因になります。
- その他、下記の機器の周辺では、音声が途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作にも影響を与えることがあります。できるだけ、設置場所や使用場所を離してください。
 - ・火災報知器
 - ・マイクロ波治療器
 - ・自動ドア、自動制御機器

電波に関するご注意

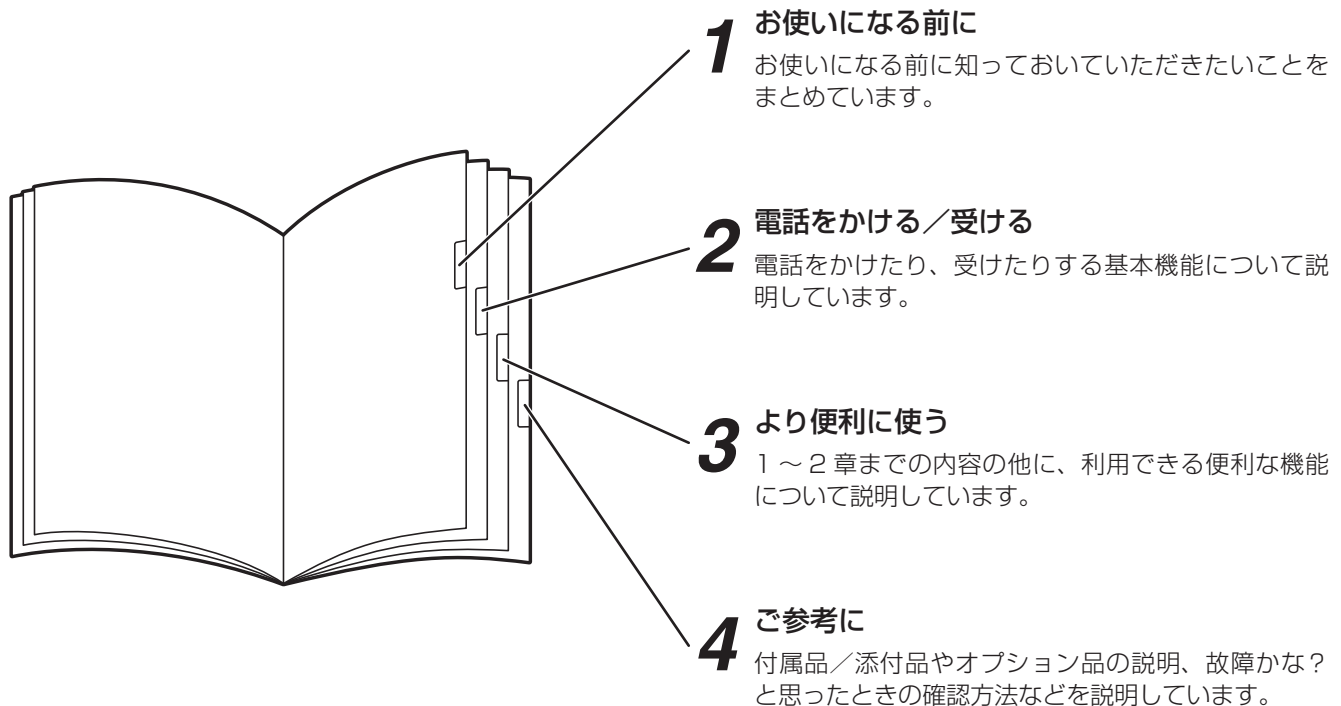
本商品の使用周波数帯では、PHSの無線局の他異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

- 本商品は同一周波数を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本商品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、当社のサービス取扱所、またはお買い求めになった販売店へご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、何かお困りのことが起きた場合には、当社のサービス取扱所、またはお買い求めになった販売店へご連絡ください。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書では、スマートネットコミュニティαZXシリーズの内線電話機としてご利用になれる、DECT方式スターコードレス電話機およびDECT方式IPコードレス電話機の基本的な機能について説明しています。その他の機能や登録・設定については、ご使用になっている主装置の取扱説明書をご覧ください。また、この取扱説明書では、S/Mタイプ主装置に接続した場合を例として説明しています。

この取扱説明書の構成



操作説明ページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

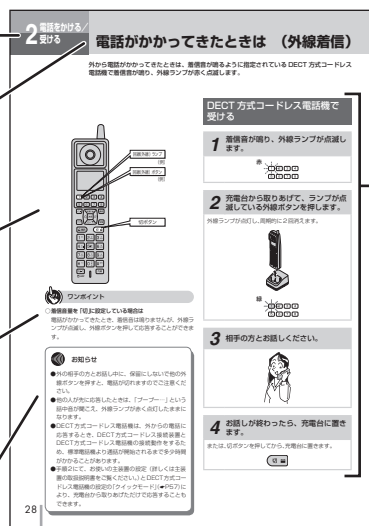
電話機イラスト

操作で使うボタンなどの位置を示しています。

ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。次の2種類のマークで項目を区別しています。

- : お買い求めいただいですぐにご利用いただける機能の補足説明
- : その他の補足説明



操作説明

順番に操作を説明しています。見出しの枠を次のように区別しています。

- : お買い求めいただいですぐにご利用になれる機能
- : 「システム設定」によりご利用になれる機能

お願いまたはお知らせ <お願い>

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止を招く内容を示しています。

<お知らせ>

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください・・・2
この取扱説明書の見かた・・・13

1 お使いになる前に

特長・・・15
セットを確認してください・・・16
各部の名前（DECT方式コードレス電話機）・・・17
各部の名前（DECT方式コードレス接続装置）・・・21
DECT方式コードレス電話機の準備をします・・・23

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには（外線発信）・・・27
発信音を確認してからかける・・・27
電話がかかってきたときは（外線着信）・・・28
DECT方式コードレス電話機で受ける・・・28
相手の方に待っていただくには（保留）・・・29
保留にする（共通保留）・・・29
電話を取りつぐには（保留転送）・・・30
電話を取りつぐ（保留転送）・・・30
内線でお話しするには（内線通話）・・・32
内線でお話しする（内線通話）・・・32

3 より便利に使う

ドアホンとお話しするには・・・34
ドアホンからの呼び出しに応答する・・・34
ドアホンの周囲の音を聞く・・・35
文字を入力するには（電話帳）・・・36
漢字・かなモード・・・36
カナモード／英字モード・・・36
電話帳ダイヤルでかけるには・・・38
メモリ番号で検索してかける・・・38
フリガナで検索してかける・・・40
電話帳グループの電話番号を検索してかける・・・42
行で検索してかける・・・44
電話帳に登録するには（電話帳ダイヤル）・・・46
電話帳に登録する・・・46
電話帳を編集するには・・・48
電話帳を検索して編集する・・・48
電話帳を削除するには・・・49

電話帳を検索して削除する・・・49
発信履歴や着信履歴の電話番号を登録するには・・・50
履歴から選択して電話帳に登録する・・・50
前に電話をかけた相手に再びかけるには
（発信履歴）・・・51
発信履歴から選択してかける・・・51
発信履歴を削除するには・・・52
発信履歴を選択して削除する・・・52
すべての発信履歴を削除する・・・53
電話をかけてきた相手にこちらからかけるには
（着信履歴）・・・54
着信履歴から選択してかける・・・54
着信履歴を削除するには・・・55
着信履歴を選択して削除する・・・55
すべての着信履歴を削除する・・・56
DECT方式コードレス電話機の機能を
設定するには・・・57
DECT方式コードレス電話機の機能を
設定する・・・58
どのDECT方式コードレス接続装置と
接続しているか確認するには・・・60
どのDECT方式コードレス接続装置と
接続しているか確認する・・・60
DECT方式コードレス電話機の情報
表示するには・・・61
電池使用期間・ネットワーク情報・主装置情報を
確認する・・・61
電池使用期間をリセットする・・・62

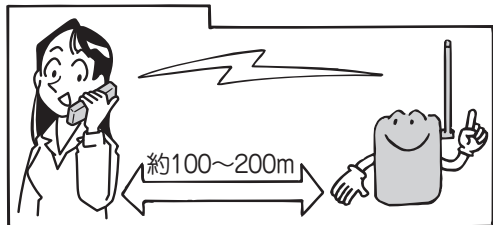
4 ご参考に

電池交換のしかた／電池の残量が
なくなったときは・・・63
通話できる範囲から外れたときは（圏外）・・・66
付属品／添付品をご利用になるには・・・67
DECT方式IPコードレス接続装置の
ファームウェアを更新する・・・69
故障かな？と思ったら・・・73
こんな音がしたら・・・75
索引・・・76
仕様・・・78
保守サービスのご案内・・・79

半径約 100 m の範囲で持ち運びが自由

DECT 方式コードレス接続装置から半径約 100 m^{*1} の範囲（見通し距離）^{*2} で、お話ししながら移動できます。

- ※1 設定により最大約 200 m へ変更可能です。詳細は当社サービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。
- ※2 コンクリート壁などで区切られている場合など、お使いになる周囲の環境条件によっては、通話にノイズが入ったり、通話できる範囲が狭くなることがあります。



約 5 時間の連続通話が可能

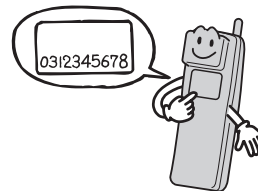
約 5 時間^{*}続けてお話しできます。また、待ち受け時間も圏内時約 100 時間^{*}と長いので、頻繁に充電しなくて済みます。

※時間はフル充電した場合の目安です。充電状態、気温などの使用環境、利用場所の電波状態によって短くなります。



わかりやすい液晶ディスプレイ表示

現在の時刻や、通話時間などを液晶ディスプレイにわかりやすく表示します。



盗聴されにくい簡易秘話機能

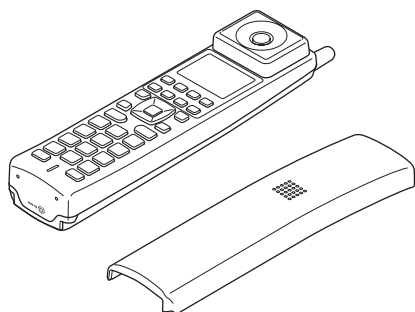
通話中の電話の盗聴を防止するための簡易秘話機能^{*}がありますので、第三者による盗聴の心配が少なくなります。

※第三者が特殊手段を講じた場合は盗聴されることもあります。

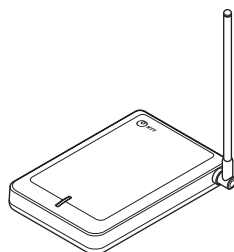


セットを確認してください

■本体

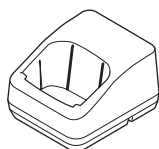


DECT方式コードレス電話機 (1台)
電池カバー (1個)

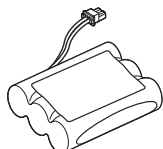


DECT方式コードレス接続装置 (1台)

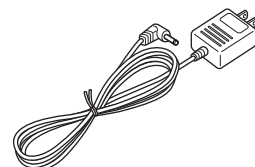
■付属品/添付品



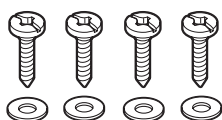
充電台 (1台)



電池パック (1個)



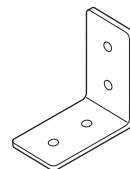
電源アダプター (1個)



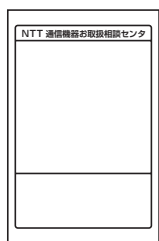
壁掛けねじ・ワッシャー (4本)
(接続装置用、充電台用)



天井設置用ねじ (2本)



天井設置用ブラケット (1個)



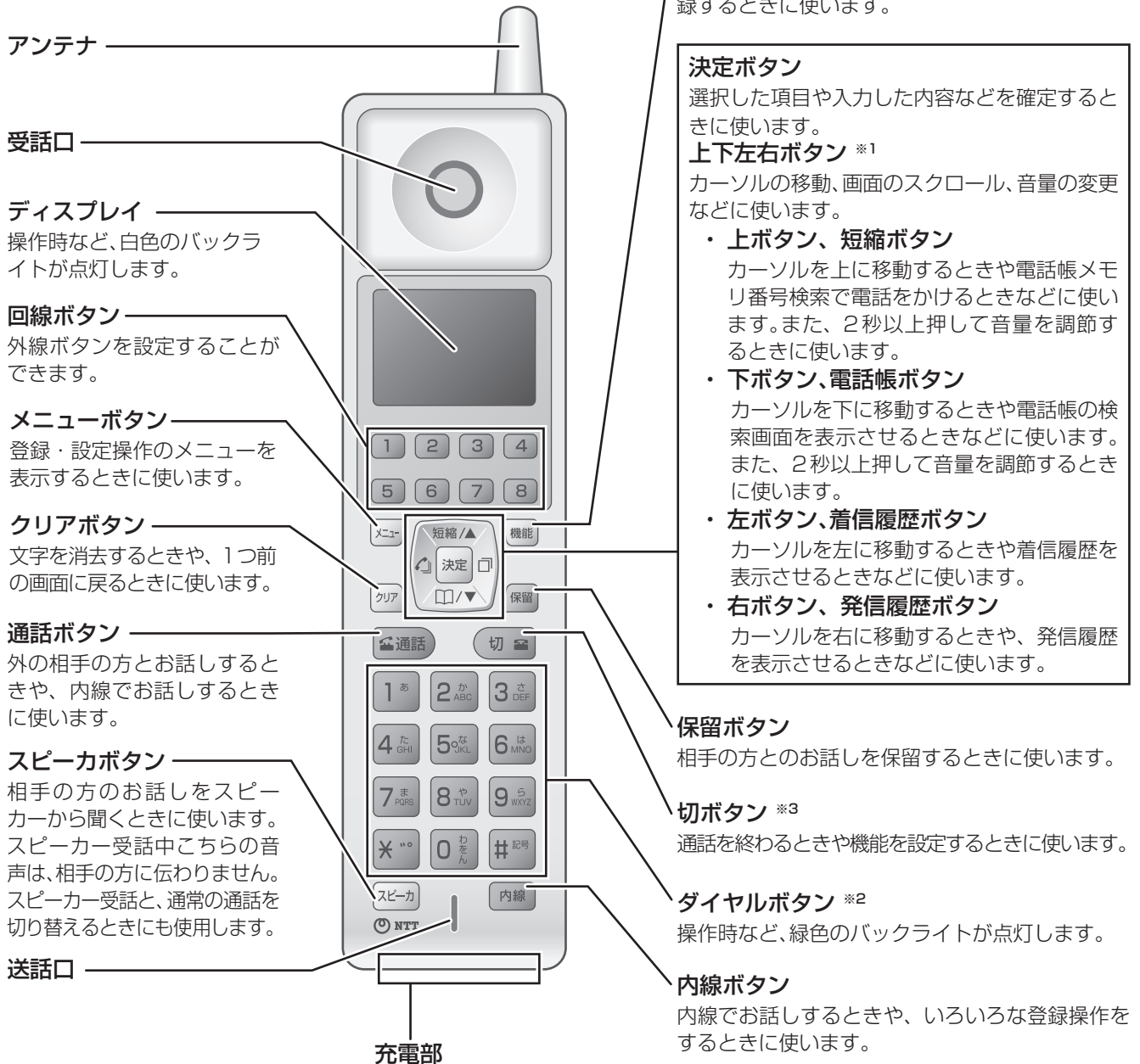
NTT通信機器
お取扱相談センターシール (1枚)



取扱説明書 (1部)

●付属品/添付品に足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

【前面】

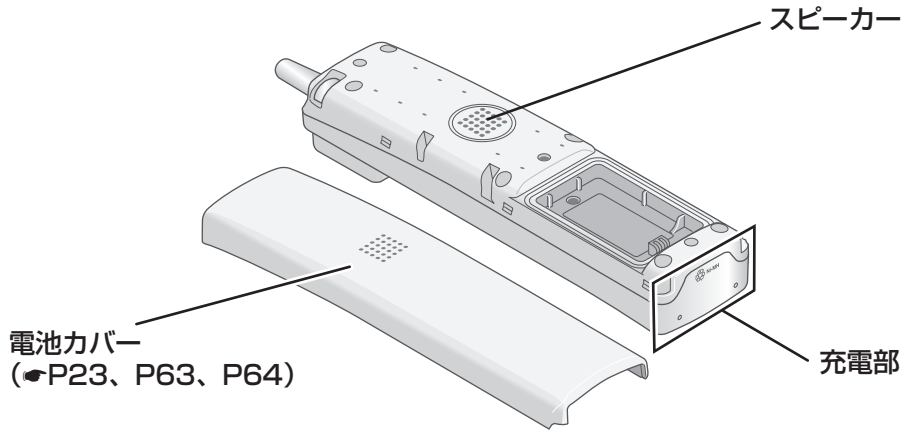


※1 音量の変更は、上ボタン、下ボタンを2秒以上押して変更することができます。詳しくは、「■ DECT方式コードレス電話機の音量を調節する」(●P26)を参照してください。

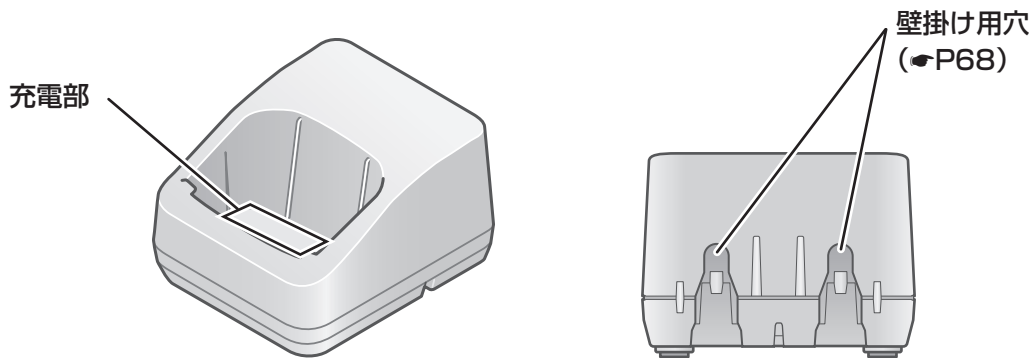
※2 ダイヤルボタン [☎] の部分に突起が付いていますが、この突起は目のご不自由な方の操作を容易にするためのものです。

※3 切ボタンを2秒以上押して機能設定のメニューを表示することができます。詳しくは、「DECT方式コードレス電話機の機能を設定するには」(●P57)を参照してください。

【背面、電池カバー内部】



【充電台】



STOP お願い

- 充電台の充電部に、コインや指輪、クリップなどの金属類を置かないでください。金属類が熱くなることがあります。
- 充電台の充電部にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気に弱いものを近づけないでください（充電部からの磁力線により、磁気に弱いものは使えなくなることがあります）。
- 本商品を電磁波や磁力を出すもの（テレビ、スピーカーなど）の近くに置かないでください。充電できない場合があります。

【ランプ表示】

【前面】



■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて次のように表します。

点灯



点滅



ランプの種類	ランプのつきかた (色)	電話機の状態
外線ランプ (外線ボタン機能を割り当てられた外線ボタンのランプ)	点滅 (緑)	ダイヤルインで電話がかかってきたとき
	点滅 (赤)	グループに電話がかかってきたとき
	2回消灯 (周期的に) (緑)	自分の電話機でお話し中のとき
	2回点灯 (周期的に) (緑)	自分の電話機で外線を保留中のとき
	点灯 (赤)	他の内線電話機が外線でお話し中のとき
	とてもゆっくり点滅 (赤)	他の内線電話機で保留中のとき
内線ランプ	点滅 (赤)	内線で電話がかかってきたとき
	2回消灯 (周期的に) (緑)	内線で自分の電話機でお話し中のとき
	2回点灯 (周期的に) (緑)	自分の電話機で内線を保留中のとき

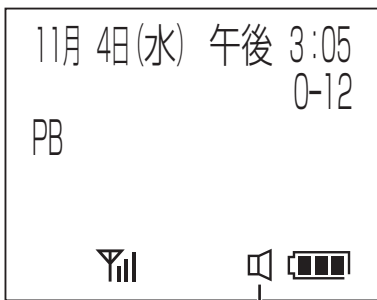
【ディスプレイの見かた】

ディスプレイ表示は、ダイヤル回線をご利用の場合、プッシュ回線をご利用の場合、ISDN回線をご利用の場合、VoIP回線をご利用の場合で異なります。

■待機中表示例

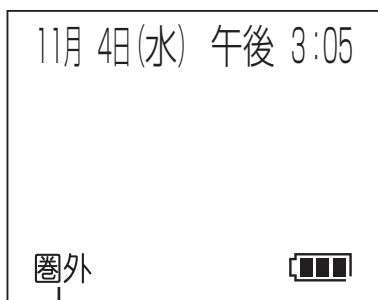
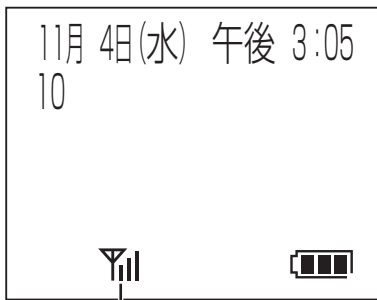


■通話時間表示例（プッシュ回線ご利用時）



スピーカースピーク中にはスピーカースピーク表示が点灯します。スピーカースピーク中でなければ、消灯します。

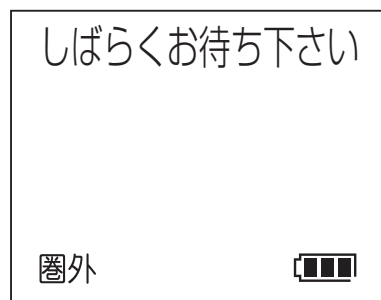
■電波の強さ



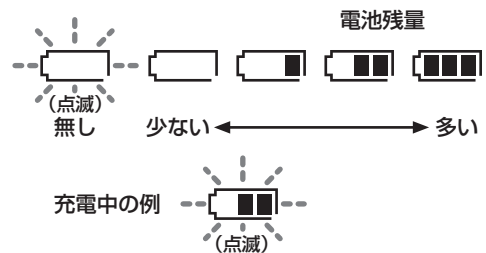
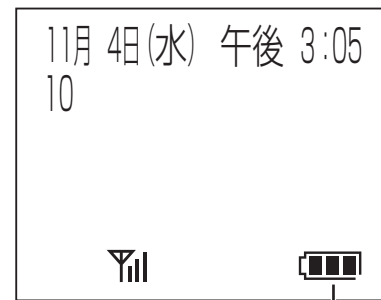
電波が届かないため使用できません

■DECT方式コードレス接続装置と無線接続準備中のとき

電池パックを接続した直後や無線が混雑しているとき、または長時間圏外の場合など（圏外の場合はそのままでは使用できませんので、DECT方式コードレス接続装置の近く（圏内）に移動してください）。



■電池残量

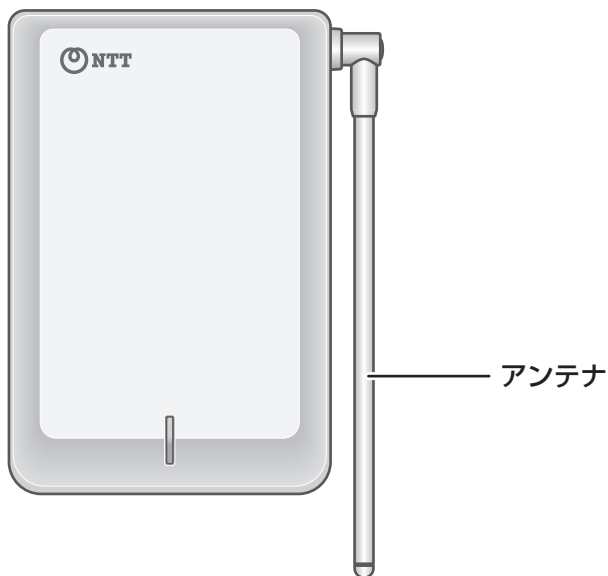


お知らせ

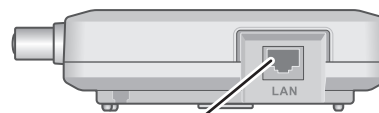
- 表示内容は、接続されている主装置の「システム設定」によって異なることがあります。
- 通話時間表示は、保留や転送を行うといったんクリアされ、応答した内線電話機に保留した時間も含めて、継続して表示されます。
- 通話時間は、国際電話のとき、専用線をお使いのときにも表示されます。
- DECT方式コードレス接続装置の電話機コードが電話機コード差込口、またはLANケーブルがLANポートから外れた場合などは、圏外が表示されます。

各部の名前 (DECT方式コードレス接続装置)

【前面】



【背面】

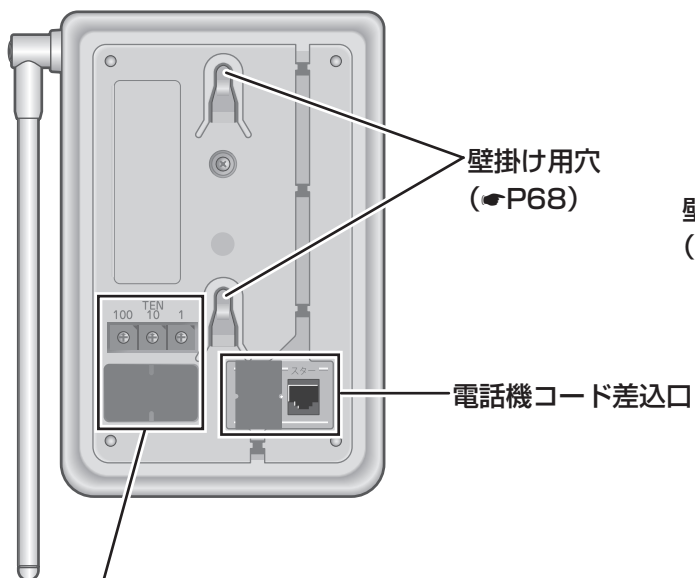


LAN ポート

LAN ケーブルを差し込み、給電 HUB などに接続します。

< DECT 方式 IP コードレス接続装置 >

【底面】

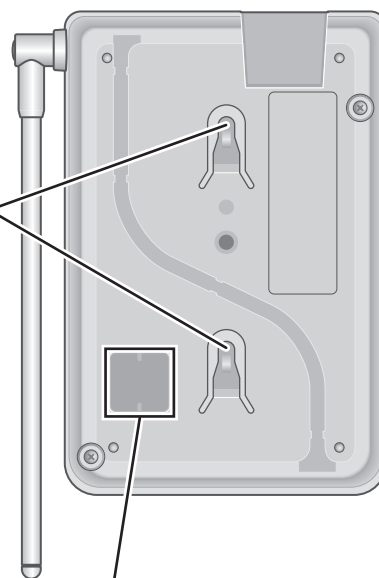


壁掛け用穴
(●P68)

電話機コード差込口

工事者設定用スイッチ

< DECT 方式スターコードレス接続装置 >



壁掛け用穴
(●P68)

工事者設定用スイッチ

< DECT 方式 IP コードレス接続装置 >

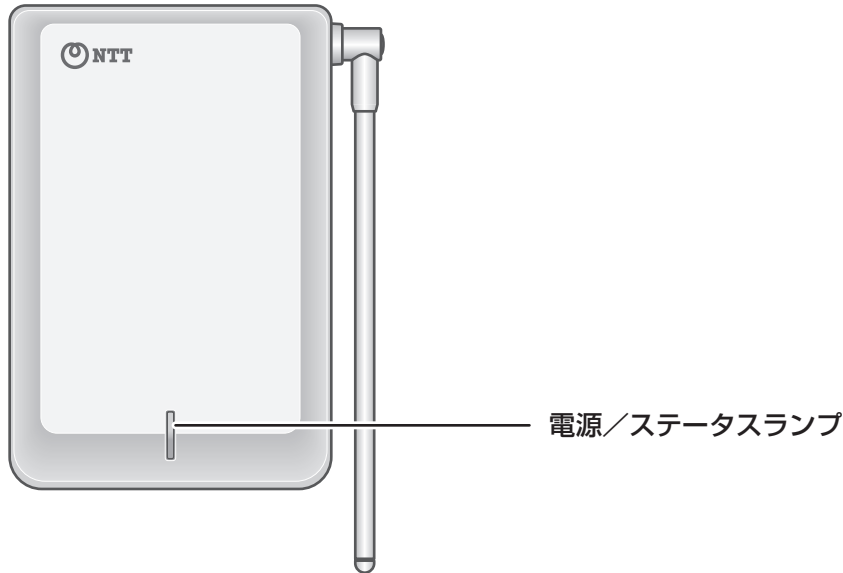
STOP お願い

- DECT 方式 IP コードレス接続装置の工事者設定用スイッチは次の設定以外では使用しないでください。その他の設定で使用すると、ご利用になれなくなる場合があります。

工事者用設定スイッチ				動作モード	説明
1	2	3	4		
OFF	OFF	OFF	OFF	通常	DECT 方式 IP コードレス電話機を接続して使用するモード
OFF	ON	ON	OFF	FTP	DECT 方式 IP コードレス接続装置のファームウェア更新のとき使用するモード (●P69)

- DECT 方式スターコードレス接続装置の工事者設定用スイッチは変更しないでください。変更するとご利用になれなくなる場合があります。

【ランプ表示】



■ランプの表記について

この取扱説明書では、ランプについて次のように表します。



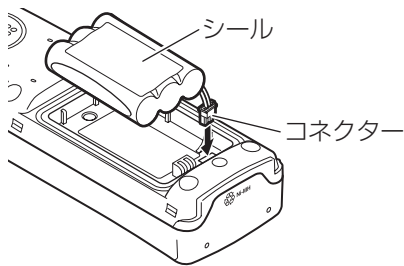
ランプの種類	ランプのつきかた (色)	状態
電源/ステータスランプ	消灯	主装置の電源が入っていないとき ※ ¹ 電話機コードが接続されていないとき ※ ¹ LANケーブルが接続されていないとき ※ ² 給電HUBから給電されていないとき ※ ²
	点灯 (橙)	DECT方式コードレス電話機が起動中のとき
	点灯 (緑)	DECT方式コードレス電話機が使用可能なとき
	ゆっくり点滅 (橙)	DECT方式コードレス接続装置にファームウェアを転送しているとき (●P69) ※ ²
	とてもゆっくり点滅 (緑)	DECT方式コードレス接続装置にFTP接続でログインしているとき (●P69) ※ ²
	点滅 (赤)	DECT方式コードレス電話機からCS接続先確認を実行したとき (●P60)
	2回消灯 (赤)	DECT方式コードレス接続装置が正常に起動されていますが、DECT方式コードレス電話機が、圏外や電池切れなどで使用できないとき

※¹ DECT方式スターコードレス電話機が対象となります。

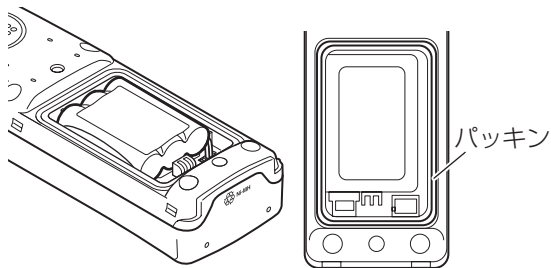
※² DECT方式IPコードレス電話機が対象となります。

■ DECT方式コードレス電話機に電池パックを取り付ける

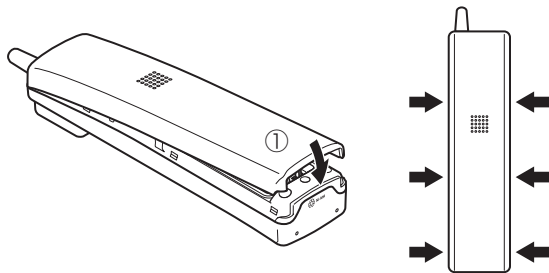
- 1** 電池パックのコネクターを差し込みます。
コネクターは赤いコードが左側になるようにして、最後まで確実に差し込みます。



- 2** 電池パックを入れます。
コードは、パッキンと重ならないように電池の横に押し込んでください。



- 3** 電池カバーを取り付けます。
アンテナ側のツメを引っ掛け、電池カバーを①の方向へ「パチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。
電池カバー側面の6箇所のツメ部分を押し込んで、確実に固定されているか確認してください。

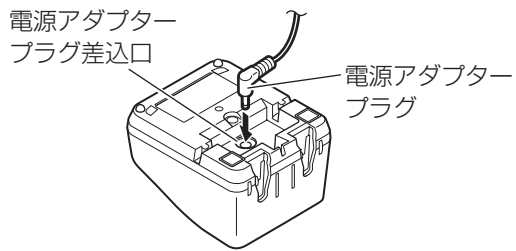


お知らせ

- 電池カバーを正しく閉めないと、防水性能が発揮されません。
- 電池カバーの取り外し方法は、「■ 電池パックを交換する」(P63)を参照してください。
- 電池パックのコードがパッキンと重なった状態で電池カバーを取り付けると、コードがパッキンと電池カバーに挟まれ、損傷の原因となります。コードは電池の横に押し込み、挟まらないように注意してください。

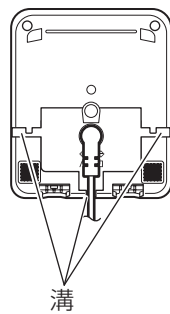
■充電台をセットする

- 1 電源アダプタープラグを充電台の電源アダプタープラグ差込口に差し込みます。

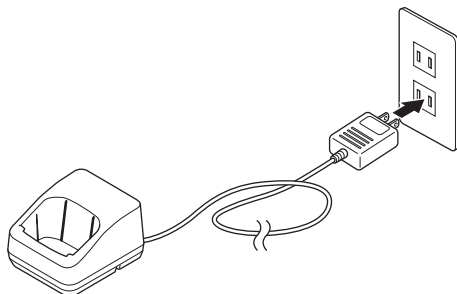


- 2 電源アダプターコードを充電台のいずれかの溝に入れます。

※壁に掛けて使用する場合は、左右どちらかの溝に入れます。



- 3 電源アダプターを電源コンセント(AC100V)に差し込みます。



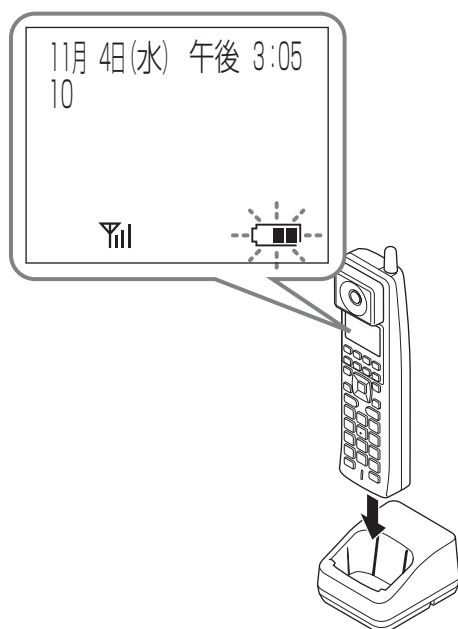
■ DECT方式コードレス電話機を充電する

DECT方式コードレス電話機は充電が必要です。はじめてお使いになるとき、または長い間お使いにならなかったときは必ず12時間以上充電してからお使いください。

また、ご使用にならないときは、DECT方式コードレス電話機を充電台に戻しておいてください。


1 DECT方式コードレス電話機を充電台に置き、充電します。

ディスプレイの電池残量表示が点滅します。



必ずディスプレイの電池残量表示が点滅したことを確認してください。

お知らせ

- 充電が正しく行われていないと、DECT方式コードレス電話機のディスプレイの電池残量表示が点滅しません。DECT方式コードレス電話機を充電台に置き直してください。
- ディスプレイの電池残量表示は、充電完了後も点滅し続けます。
- 電池残量がなくなると、DECT方式コードレス電話機のディスプレイに表示されている  が点滅し、お話し中の場合は約30秒ごとに「ピーピー…」という音が鳴ります。できるだけ早めにお話しを終えて充電してください。

STOP お願い

- 充電台の充電部に、コインや指輪、クリップなどの金属類を置かないでください。金属類が熱くなることがあります。
- 充電台の充電部にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気に弱いものを近づけないでください（充電部からの磁力線により、磁気に弱いものは使えなくなることがあります）。
- 本商品を電磁波や磁力を出すもの（テレビ、スピーカーなど）の近くに置かないでください。充電できない場合があります。
- 充電するときは、DECT方式コードレス電話機の背面が充電台にあたるように置いてください。DECT方式コードレス電話機が手前に傾いた姿勢で置かれていると、正常に充電できない場合があります。

DECT方式コードレス電話機の準備をします

■ DECT方式コードレス電話機の音量を調節する

〈受話音量を調節する〉

受話音量を6段階（<<<<<<）で設定することができます。DECT方式コードレス電話機でお話中に音量を大きくするときは、上または下ボタンを長く（2秒以上）押し、音量表示中に上ボタンを押します。

小さくするときは、上または下ボタンを長く（2秒以上）押し、音量表示中に下ボタンを押します。

上または下ボタンを長く押すと、ディスプレイに約3秒間表示されます。

〈着信音量を調節する〉

着信音量を4段階（<<<<）と「切」に設定することができます。音量を大きくするときは、上または下ボタンを長く（2秒以上）押し、音量表示中に上ボタンを押します。

小さくするときは、上または下ボタンを長く（2秒以上）押し、音量表示中に下ボタンを押します。

上または下ボタンを長く押すと、ディスプレイに約3秒間表示されます。

〈スピーカー受話音量を調節する〉

スピーカー受話音量を8段階（<<<<<<<<<）で設定することができます。スピーカー受話中に、音量を大きくするときは、上または下ボタンを長く（2秒以上）押し、音量表示中に上ボタンを押します。

小さくするときは、上または下ボタンを長く（2秒以上）押し、音量表示中に下ボタンを押します。

上または下ボタンを長く押すと、ディスプレイに約3秒間表示されます。



お知らせ


- 複数台同時に通話しながらまとめてDECT方式コードレス接続装置から離れると、自動的に電波が強くなりお互いに電波干渉します。そのため、通話途切れやノイズなどの混入がない状態で同時に使用できる台数が少なくなることがあります。

■ DECT方式コードレス接続装置のアンテナを立てる

アンテナはできるだけ床面、または天井面（天井に設置する場合）に対し垂直に起こしてご使用ください。また、接続装置を壁に掛ける場合は、アンテナを壁から約30°傾けてご使用ください。DECT方式コードレス接続装置とDECT方式コードレス電話機の間は電波で結ばれていますので、電波の届く範囲（見通し距離約100m※）であればお話ししながら移動できます。

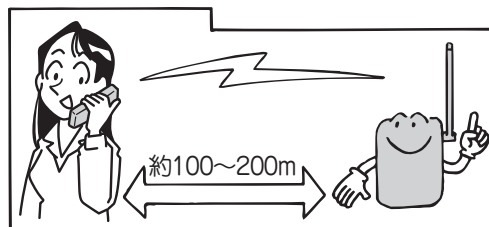
ただし、コンクリート壁などで区切られているなど、ご使用になる周囲の環境条件によっては、音声が届かなくなったり、パタパタと雑音が入ったりして通話できる範囲が狭くなる場合があります。約3秒ごとに「ピピッ…」という音（通話圏外警報音）が鳴ったら音声が途切れない場所まで戻ってください。そのままの場所で通話を続けるとディスプレイに「圏外」と表示され、電話が切れてしまう場合があります。

あらかじめ内線通話などで、通話ができる範囲や音声が途切れない場所であるかどうかをお確かめください。

できるだけアンテナマークが全部表示（)する場所で使用してください。

※設定により最大約200mへ変更可能です。

詳細は当社サービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。



■ DECT方式コードレス電話機を充電台から外しておくとき

DECT方式コードレス電話機を充電台から外しておくときは、DECT方式コードレス電話機の外線ランプ、内線ランプが消えていることを確認してください（他の電話機の使用中表示は除きます）。

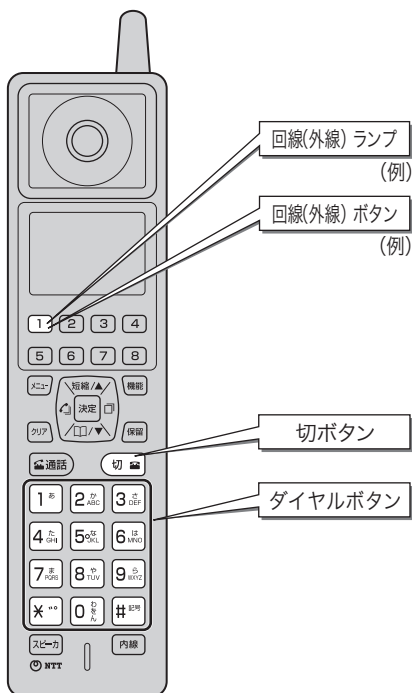
DECT方式コードレス電話機を充電台から外すと、DECT方式コードレス電話機の外線ランプまたは内線ランプ※が緑色に点灯しますので、切ボタンを押して外線ランプまたは内線ランプを消してください。



※外線ランプと内線ランプのどちらが点灯するかは、接続されている主装置の設定により異なります（オフフック外線自動捕捉・内線捕捉）。

DECT方式コードレス電話機を充電台から外しておくときは、立てておくと不安定ですので、横にしてください。

発信音を確認してからかける方法と、電話番号を確認してからかける方法があります。



ワンポイント

●電話番号を確認してから電話をかけるには（プリセットダイヤル）

- ① 電話番号をダイヤルボタンで押す
- ② 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押す
- ③ 相手の方が応答したら、お話しする
- ④ お話しが終わったら、切ボタンを押す



お知らせ

- 発信できる外線がすべて使用中のときには、電話をかけることができません。他の電話機のお話しが終わるまでお待ちください。
- 外線ランプが赤く点灯しているときは、他の内線電話機が外の相手の方とお話し中のため、その外線ボタンを押して電話をかけることはできません。
- DECT方式コードレス電話機は、外へ電話をかけるとき、DECT方式コードレス接続装置とDECT方式コードレス電話機の接続動作をするため、標準電話機より通話が開始されるまで多少時間がかかることがあります。
- 手順1にて、お使いの主装置の設定（詳しくは主装置の取扱説明書をご覧ください。）またはDECT方式コードレス電話機の設定の「クイックモード」(P57)により、充電台から取りあげただけで電話をかけることができます。
- 外線ボタンを押した際に、一瞬スピーカーピクトが点灯することがあります。

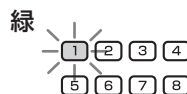
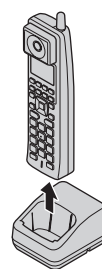
発信音を確認してからかける

1 充電台から取りあげ、外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

「ツー」という発信音を確認してください。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。

充電台から外しているときは、そのまま外線ボタンを押します。



2 電話番号をダイヤルボタンで押します。



3 相手の方が応答したら、お話しください。



4 お話しが終わったら、充電台に置きます。

または、切ボタンを押してから、充電台に置きます。



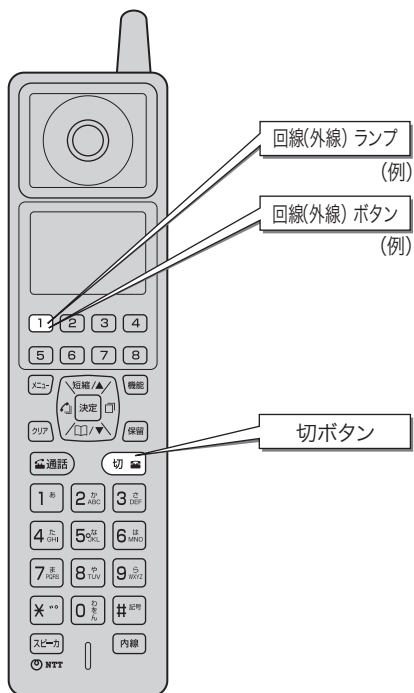
1 お使いになる前

2 電話をかける／受ける

電話をかけるには
DECT方式コードレス電話機の準備をします

電話がかかってきたときは (外線着信)

外から電話がかかってきたときは、着信音が鳴るように指定されている DECT 方式コードレス電話機で着信音が鳴り、外線ランプが赤く点滅します。



ワンポイント

○着信音量を「切」に設定している場合は

電話がかかってきたとき、着信音は鳴りませんが、外線ランプが点滅し、外線ボタンを押して応答することができます。

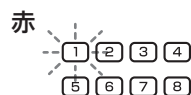


お知らせ

- 外の相手の方とお話し中に、保留にしないで他の外線ボタンを押すと、電話が切れますのでご注意ください。
- 他の人が先に応答したときは、「プープー…」という話中音が聞こえ、外線ランプが赤く点灯したままになります。
- DECT方式コードレス電話機は、外からの電話に応答するとき、DECT方式コードレス接続装置とDECT方式コードレス電話機の接続動作をするため、標準電話機より通話が開始されるまで多少時間がかかることがあります。
- 手順2にて、お使いの主装置の設定（詳しくは主装置の取扱説明書をご覧ください。）とDECT方式コードレス電話機の設定の「クイックモード」(●P57)により、充電台から取りあげただけで応答することもできます。

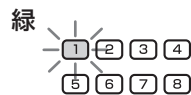
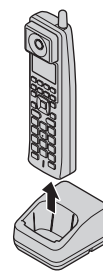
DECT 方式コードレス電話機で受ける

1 着信音が鳴り、外線ランプが点滅します。



2 充電台から取りあげて、ランプが点滅している外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



3 相手の方とお話してください。



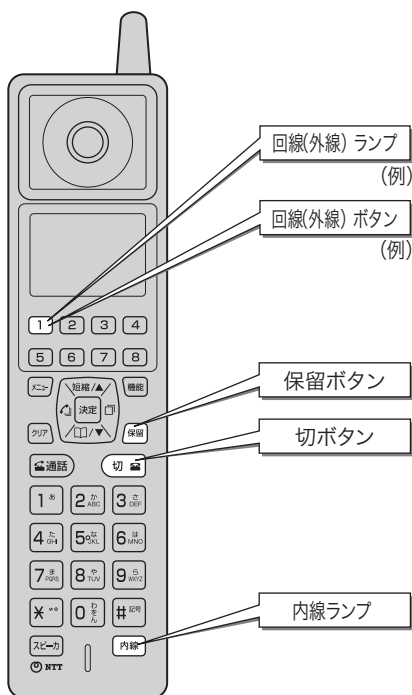
4 お話しが終わったら、充電台に置きます。

または、切ボタンを押してから、充電台に置きます。



相手の方に待っていただくには（保留）

外の相手の方とのお話を一時中断して、待っていただくときは保留にします。相手の方へは保留メロディが流れます。

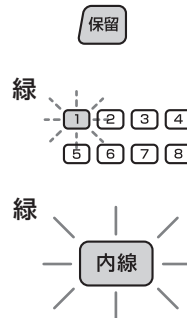


保留にする（共通保留）

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

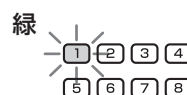
2 保留ボタンを押します。

相手の方には保留メロディが流れます。「ツツツ…」という音を確認してください。外線ランプが周期的に2回点灯し、内線ランプが点灯して周期的に2回消えます。



3 もう一度お話しするときは、保留中の外線ボタンを押します。

外線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



4 お話しが終わったら、充電台に置きます。

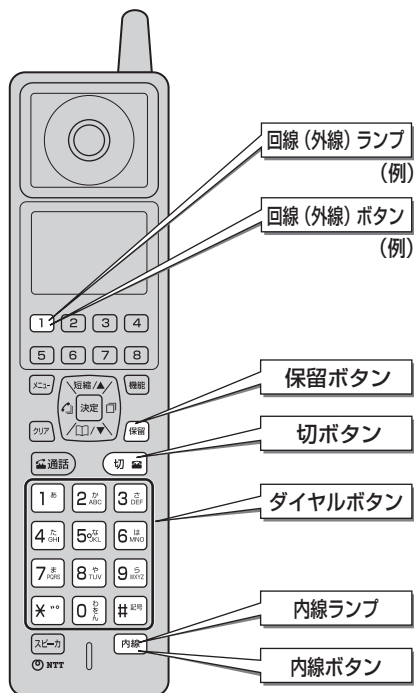
または、切ボタンを押してから、充電台に置きます。



お知らせ

- 手順2で確認できる音は、主装置タイプや主装置の設定により異なります。詳しくは各主装置の取扱説明書をご覧ください。

外の相手の方とのお話しを、他の内線電話機や DECT 方式コードレス電話機に取りつぐことができます。



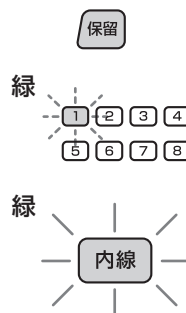
電話を取りつぐ (保留転送)

呼び出す方

1 お話し中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

2 保留ボタンを押します。

相手の方には保留メロディが流れます。「ツツツ…」という音を確認してください。外線ランプが周期的に2回点灯し、内線ランプが点灯して周期的に2回消えます。



3 呼び出す内線電話機の内線番号をダイヤルボタンで押します。

ディスプレイに、呼び出す内線番号が表示されます。



4 呼び出された方が応答したら、電話を取りつぐことを伝えます。



ワンポイント

- 呼び出される方が近くにいたときは (口頭転送)
「呼び出す方」の手順2のあと、口頭で連絡してください。
「呼び出される方」は充電台から取りあげて保留中の外線ボタンを押すと、電話に出ることができます。



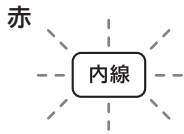
お知らせ

- 手順2で確認できる音は、主装置タイプや主装置の設定により異なります。詳しくは各主装置の取扱説明書をご覧ください。

呼び出される方

1 呼び出されると着信音が鳴り、内線ランプが点滅します。充電台から取りあげてお話しください。

ディスプレイに、呼び出した方の内線番号が表示されます。



2 呼び出した方が充電台に置くか、切ボタンを押すと外からの電話につながりますから、相手の方とお話しください。

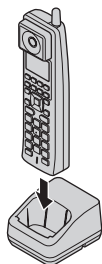
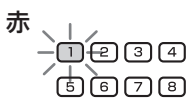


3 お話しが終わったら、充電台に置きます。

または、切ボタンを押してから、充電台に置きます。



5 充電台に置きます。



または、切ボタンを押してから、充電台に置きます。



ワンポイント

○DECT方式コードレス電話機を充電台から外しているときに、呼び出しを受けるには

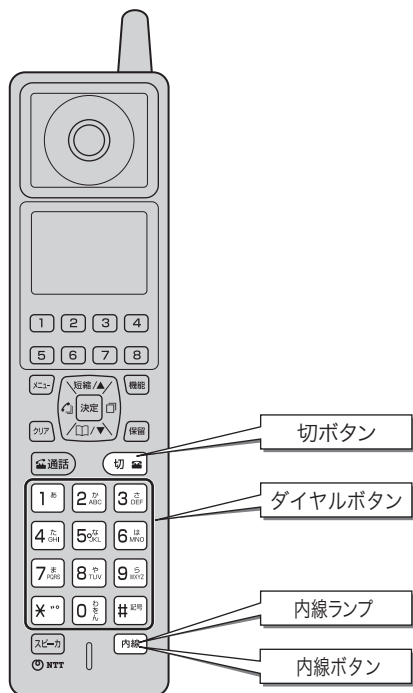
着信音量を設定している場合は、着信音が鳴り、内線ランプが点滅します。内線ボタンを押して応答してください。着信音量を「切」に設定している場合は、着信音は鳴りませんが、内線ランプが点滅し、内線ボタンを押して応答することができます。また、ディスプレイには内線着信したことが表示されます。



お知らせ

- 「ブーブー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。
- 「呼び出される方」の手順1にて、DECT方式コードレス電話機の設定の「クイックモード」(●P57)により、充電台から取りあげたあと内線ボタンを押す必要があります。

他の内線電話機や DECT 方式コードレス電話機を内線番号で呼び出してお話しすることができます。

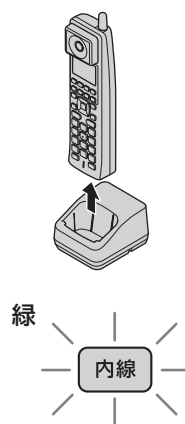


内線でお話する (内線通話)

呼び出す方

1 充電台から取りあげます。

内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



2 呼び出す内線電話機の内線番号を、ダイヤルボタンで押します。

ディスプレイに内線番号が表示されます。



3 呼び出された方が応答したら、お話しください。

4 お話が終わったら、充電台に置きます。

または、切ボタンを押してから、充電台に置きます。



呼び出される方

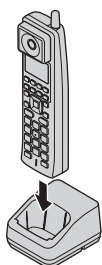
1 呼び出されると着信音が鳴り、内線ランプが点滅します。DECT方式コードレス電話機を取りあげてお話しください。

ディスプレイに、呼び出した方の内線番号が表示されます。

赤



2 お話が終わったら、充電台に置きます。



または、切ボタンを押してから、充電台に置きます。



ワンポイント

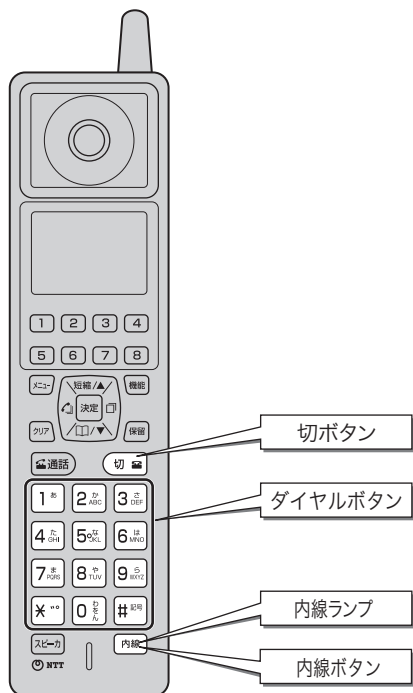
- DECT方式コードレス電話機を充電台から外しているときに、内線電話をかけるには
手順1で、内線ボタンを押し、続けて手順2から行ってください。
内線ボタンを押した際に、一瞬スピーカーピクトが点灯することがあります。
- 充電台から外しているときに呼び出しを受けるには
着信音量を設定している場合は、着信音が鳴り、内線ランプが点滅します。内線ボタンを押して応答してください。
着信音量を「切」に設定している場合は、DECT方式コードレス電話機から着信音は鳴りませんが、内線ランプが点滅し、内線ボタンを押して応答することができます。また、ディスプレイには内線着信したことが表示されます。
- お話中に内線がかかってきたときは（通話中着信）
お話中に内線がかかってきたときは、内線ランプが点滅し、受話口より「ププッ」というお知らせ音が聞こえます。通話中着信をご利用になる場合は、接続されている主装置の設定が必要になります。



お知らせ

- 「呼び出す方」の手順2のあと、「プープー…」という話中音が聞こえるときは、相手の方がお話し中です。しばらくしてからかけ直してください。
- 「呼び出す方」の手順1にて、お使いの主装置の設定（詳しくは主装置の取扱説明書をご覧ください。）またはDECT方式コードレス電話機の設定の「クイックモード」(●P57)により、充電台から取りあげたあと内線ボタンを押す必要があります。
- 「呼び出される方」の手順1にて、DECT方式コードレス電話機の設定の「クイックモード」(●P57)により、充電台から取りあげたあと内線ボタンを押す必要があります。

ドアホンとお話するには



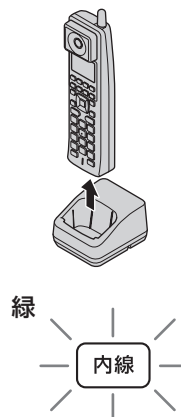
ドアホンからの呼び出しに应答する

1 ドアホンからの呼び出しがあると、チャイム音が鳴り、内線ランプが点滅します。



2 充電台から取りあげます。

内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



3 相手の方とお話してください。

4 お話が終わったら、充電台に置きます。

または、切ボタンを押してから、充電台に置きます。



ワンポイント

- 充電台から外しているときに、ドアホンからの呼び出しに应答するには
着信音が鳴り、内線ランプが点滅します。内線ボタンを押して应答してください。また、ディスプレイにはドアホンから着信したことが表示されます。

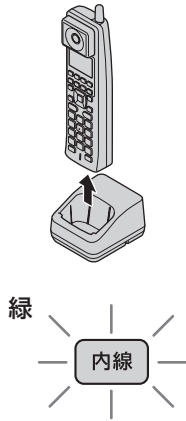
お知らせ

- ドアホンからの呼び出しに应答するときは、内線ランプが点滅している間に行ってください。この時間を超えると、充電台から取りあげても应答することはできません。
- チャイム音が鳴るように設定した電話機がお話中のときは、チャイム音が鳴りません。
- チャイム音が鳴る電話機は、接続している主装置で設定します。
- 手順2にて、DECT方式コードレス電話機の設定の「クイックモード」(P57)により、充電台から取りあげたあと内線ボタンを押す必要があります。

ドアホンの周囲の音を聞く

1 充電台から取りあげます。

内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



2 ドアホン番号をダイヤルボタンで押します。

ディスプレイにドアホン番号が表示されます。



3 ドアホンの周囲の音が聞こえます。

ドアホン側の方とお話することもできます。



4 周囲の音を聞き終わったら、充電台に置きます。

または、切ボタンを押してから、充電台に置きます。



ワンポイント

- 充電台から外しているときに、ドアホンの周囲の音を聞くには
手順1で、内線ボタンを押し、続けて手順2から行ってください。



お知らせ

- ドアホン番号は、主装置の取扱説明書を参照してください。
- 手順1にて、お使いの主装置の設定（詳しくは主装置の取扱説明書をご覧ください。）またはDECT方式コードレス電話機の設定の「クイックモード」(P57)により、充電台から取りあげたあと内線ボタンを押す必要があります。

電話帳関連の文字入力時には、「漢字」「ひらがな」「カタカナ」「英字」「数字」を入力することができます。

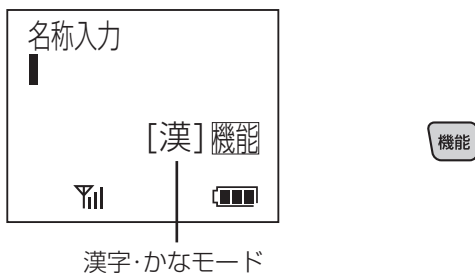
漢字・かなモード

漢字およびひらがなを入力することができます。

<例>個別電話帳登録の名称入力画面に「佐藤」と入力する場合

1 機能ボタン (Homeタイプではメニューボタン) を押して入力モードを選択します。

[漢] (Homeタイプでは [かな]) を選択します。最初は漢字・かなモードになっています。機能ボタンを押すごとに、「漢」→「か」→「AB」→「12」の順に切り替わります (Homeタイプではメニューボタンを押すごとに、「かな」→「か」→「ABC」→「123」の順に切り替わります)。



2 3^{DEF}を1回、4^{GHI}を5回、1^{*}を3回押します。

漢字に変換しない場合は決定ボタンを押します。



3 上下ボタンで文字を変換します。

目的の候補が表示されなかったときは、繰り返し上下ボタンを押します。また、「さとう」の「さ」だけの変換候補を表示させたい場合は、左ボタンを押して変換範囲を「さ」のみにして、再度上下ボタンを押します。



4 入力したい文字が表示されたら決定ボタンを押します。

確定した文字が上段に移動します。



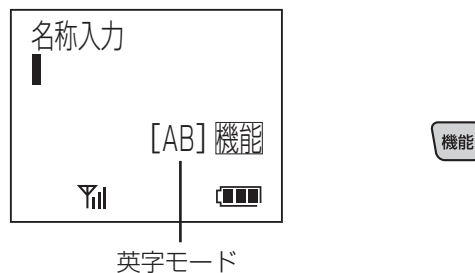
カナモード／英字モード

半角のカタカナ、英字および記号を入力することができます。

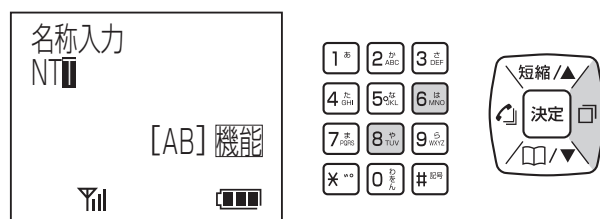
<例>個別電話帳登録の名称入力画面に「NTT」と入力する場合

1 機能ボタン (Homeタイプではメニューボタン) を押して入力モードを選択します。

[AB] (Homeタイプでは [ABC]) を選択します。



2 6^{HK}を2回、8^{TUV}を1回、右ボタンを1回、8^{TUV}を1回押します。





ワンポイント

●文字と機能の割り当て一覧表

漢字・かな／カタカナ／英字／数字の各入力モードでのボタンと機能は下表のとおりです。機能ボタン（Homeタイプではメニューボタン）を押すたびに入力モードが切り替わります。文字入力、入力する文字が表示されるまでダイヤルボタンを繰り返し押してください。

文字の組み合わせによっては表示されない文字があります。

ボタン	漢字・かなモード	カナモード	英字モード	数字モード
1*	あいうえお あいうえお	アイエアイウエオ	無効	1
2 ^{abc}	かきくけこ	カクケコ	A B C a b c	2
3 ^{def}	さしすせそ	サシセソ	D E F d e f	3
4 ^{ghi}	たちつてとっ	チツテトツ	G H I g h i	4
5 ^{jkl}	なにぬねの	ナニネノ	J K L j k l	5
6 ^{mno}	はひふへほ	ハヒフホ	M N O m n o	6
7 ^{pqr}	まみむめも	マミムモ	P Q R S p q r s	7
8 ^{tuv}	やゆよやゆよ	ヤヨヤユヨ	T U V t u v	8
9 ^{wxyz}	らりるれろ	ラリルロ	W X Y Z w x y z	9
0 ^{space}	わをんー	ワヲン ー	無効	0
* ^{dot}	濁点、半濁点付与	ゝ ゜	無効	*
# ^{hash}	一、。・！？@&#／：¥	@ ー # *	. @ _ () ー # *	#
➡ (右ボタン)	カーソルを右に移動 漢字変換の範囲を広げる	カーソルを右に移動		
⬅ (左ボタン)	カーソルを左に移動 漢字変換の範囲を狭める	カーソルを左に移動		
⬆ (上ボタン) ⬇ (下ボタン)	入力中の文字に対する漢 字変換候補を表示	無効		
決定 (決定ボタン)	選択された漢字変換候補 を確定	確定		
クリア	短く押したとき：1文字消去、漢字変換のキャンセル（漢字・かな入力時） 長く押したとき：すべての文字消去。 （Lタイプのみ）カーソルが右端の場合は、すべての文字消去。カーソルが入力文字途中であれば、 カーソルより右側の文字を消去。			

●濁点・半濁点・小文字を入力するには

文字と機能の割り当て一覧表（☛上表）を参照してください。

●続けて同じダイヤルボタンの文字を入力するには

右ボタンを押して、カーソルを移動させてください。

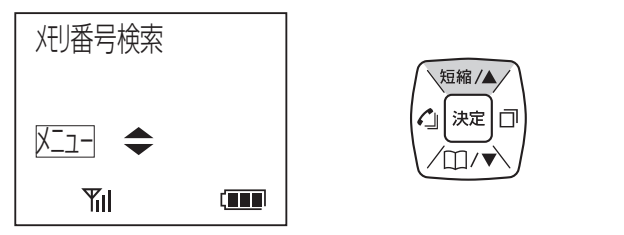
●文字を修正するには

左右ボタンでカーソルを修正したい文字へ移動し、修正したい文字を消去して再度入力してください。

メモリ番号で検索してかける

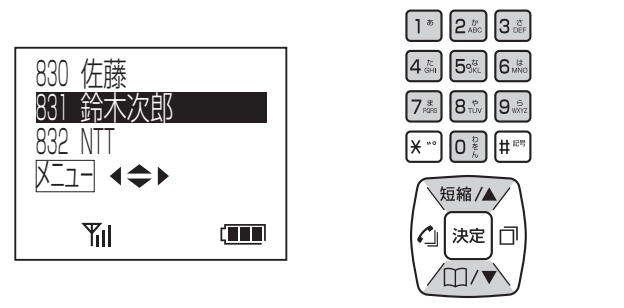
電話帳の中からメモリ番号で目的の電話帳を検索する方法です。

1 待ち受け状態で、上（短縮）ボタンを押します。



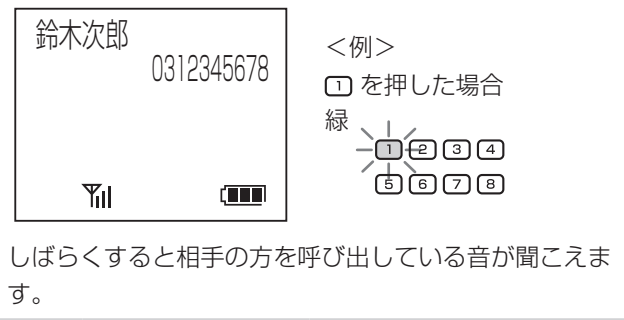
2 目的の電話帳のメモリ番号をダイヤルボタンで押すか、上下ボタンで目的の電話帳を選択します。

左右ボタンでページ送りすることもできます。



3 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

選択した電話番号がダイヤルされます。
外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

4 相手の方が出たら、お話しください。



電話帳ダイヤルでかけるには

フリガナで検索してかける

電話帳の中からフリガナで目的の電話帳を検索する方法です。

1 待ち受け状態で、下（電話帳）ボタンを押します。

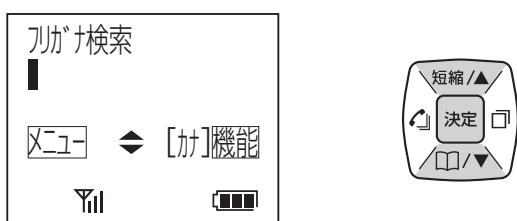
下（電話帳）ボタンを押すと、検索画面が表示されます。フリガナ検索の画面が表示された場合は、手順4へ進んでください。



2 メニューボタン（Homeタイプでは左（着信履歴）ボタン）を押します。



3 上下ボタンで「フリガナ検索」を選択し、決定ボタンを押します。

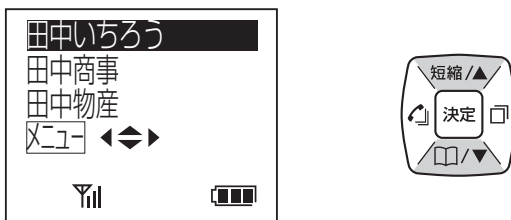


4 フリガナ（1～12文字）を入力します。

「文字と機能の割り当て一覧表」を参照してください。（P37）

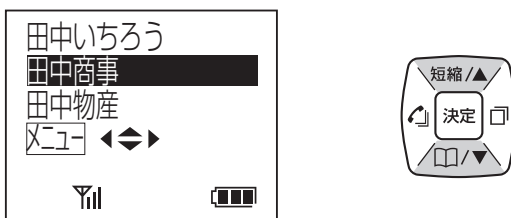


5 上下ボタンを押します。



6 上下ボタンでかけたい電話帳を選択します。

左右ボタンでページ送りすることもできます。



7 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

選択した電話番号がダイヤルされます。外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

8 相手の方が出たら、お話しください。





ワンポイント

●文字を入力するには (P36)

●メニューを使ってフリガナ検索をするには

- ①メニューボタンを押す
- ②上下ボタンで「電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押す
- ③上下ボタンで「電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
- ④上下ボタンで「電話帳検索」を選択し、決定ボタンを押す
- ⑤上下ボタンで「フリガナ検索」を選択し、決定ボタンを押す
- ⑥手順4以降の操作を行う

●電話をかける前に登録内容を確認するには

手順6のあとに決定ボタンを押すと、電話帳の詳細画面が表示されます。詳細画面表示からでも手順7～8の操作が行えます。

1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、左右ボタンでかけたい電話番号を選択して発信できます(S/M/Lタイプのみ)。

●電話帳ガイド表示について(S/M/Lタイプのみ)

「システム設定」で電話帳ガイド表示ありに設定されていると、検索結果一覧画面の4行目に操作ガイドが表示されます。

電話帳の操作中に設定を変更した場合は、次回の電話帳操作から表示の有無が反映されます。

本書では、電話帳ガイド表示ありの画面で説明しています。



お知らせ

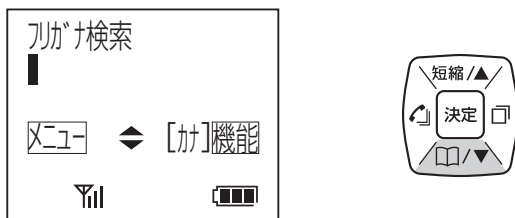
- 外線ボタンの代わりに内線ボタンを押すと、自動的に外線発信番号が入り、電話帳ダイヤルで電話をかけることができるようにすることもできます。詳しくは、主装置の取扱説明書をご覧ください(Lタイプのみ)。
- お買い求め時は、下(電話帳)ボタンを押すとフリガナ検索画面が表示されるように設定されています。「メニュー設定」によって先に表示させる検索画面を切り替えることができます。詳しくは、主装置の取扱説明書をご覧ください。
- 「システム設定」で電話帳操作が禁止の設定のときは、フリガナ検索の画面が表示されません。

電話帳グループの電話番号を検索してかける

共通電話帳と個別電話帳の中からグループ番号で目的の電話帳を検索する方法です。

1 待ち受け状態で、下（電話帳）ボタンを押します。

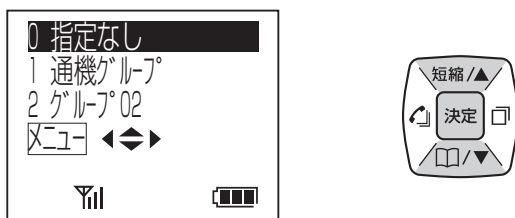
下（電話帳）ボタンを押すと、検索画面が表示されます。グループ検索の画面が表示された場合は、手順4へ進んでください。



2 メニューボタン（Homeタイプでは左（着信履歴）ボタン）を押します。

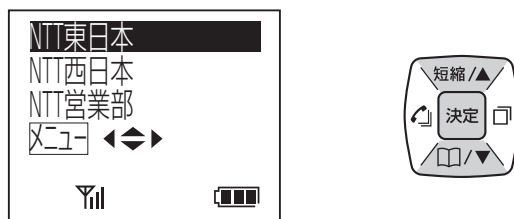


3 上下ボタンで「グループ検索」を選択し、決定ボタンを押します。



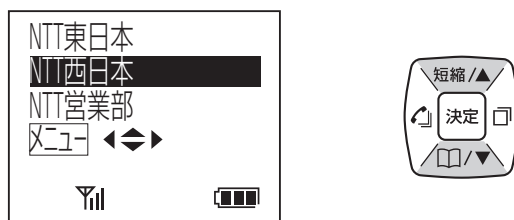
4 上下ボタンで目的のグループを選択し、決定ボタンを押します。

グループ内の電話帳が五十音順に表示されます。



5 上下ボタンで目的の電話帳を選択します。

左右ボタンでページ送りすることもできます。



6 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

選択した電話番号がダイヤルされます。外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

7 相手の方が出たら、お話しください。



ワンポイント

●メニューを使ってグループ検索をするには

- ①メニューボタンを押す
- ②上下ボタンで「電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押す
- ③上下ボタンで「電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
- ④上下ボタンで「電話帳検索」を選択し、決定ボタンを押す
- ⑤上下ボタンで「グループ検索」を選択し、決定ボタンを押す
- ⑥手順4以降の操作を行う

●電話をかける前に登録内容を確認するには

手順5のあと決定ボタンを押すと、電話帳の詳細画面が表示されます。詳細画面表示からでも手順6～7の操作が行えます。

1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、左右ボタンでかけたい電話番号を選択して発信できます(S/M/Lタイプのみ)。

●電話帳ガイド表示について(S/M/Lタイプのみ)

「システム設定」で電話帳ガイド表示ありに設定されていると、検索結果一覧画面の最下行に操作ガイドが表示されます。

電話帳の操作中に設定を変更した場合は、次回の電話帳操作から表示の有無が反映されます。本書では、電話帳ガイド表示ありの画面で説明しています。



お知らせ

- 外線ボタンの代わりに内線ボタンを押すと、自動的に外線発信番号が入り、電話帳ダイヤルで電話をかけることができるようにすることもできます。詳しくは、主装置の取扱説明書をご覧ください(Lタイプのみ)。
- お買い求め時は、下(電話帳)ボタンを押すとフリガナ検索画面が表示されるように設定されています。「メニュー設定」によって先に表示させる検索画面を切り替えることができます。詳しくは、主装置の取扱説明書をご覧ください。
- 「システム設定」で電話帳操作が禁止の設定のときは、グループ検索の画面が表示されません。

電話帳ダイヤルでかけるには

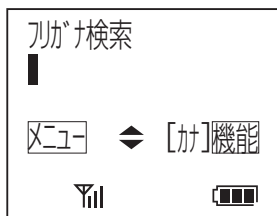
行で検索してかける

名前の先頭文字の行から、目的の電話帳を検索します。

※ Home タイプでは本機能はご利用になれません。

1 待ち受け状態で、下（電話帳）ボタンを押します。

下（電話帳）ボタンを押すと、検索画面が表示されます。行検索の画面が表示された場合は、手順4へ進んでください。

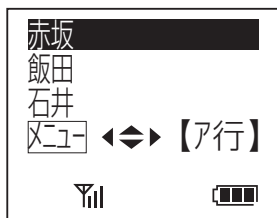


2 メニューボタンを押します。

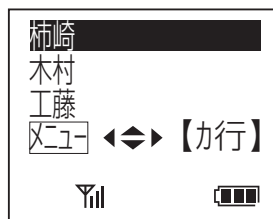


3 上下ボタンで「行検索」を選択し、決定ボタンを押します。

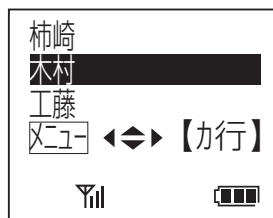
グループ内の電話帳が五十音順に表示されます。



4 左右ボタンで行を切り替えます。



5 上下ボタンでかけたい電話帳を選択します。



6 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

選択した電話番号がダイヤルされます。外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



<例>

① を押した場合

緑



7 相手の方が出たら、お話しください。





ワンポイント

●メニューを使って行検索をするには(S/M/Lタイプのみ)

- ①メニューボタンを押す
- ②上下ボタンで「電話機毎設定」を選択し、決定ボタンを押す
- ③上下ボタンで「電話帳」を選択し、決定ボタンを押す
- ④上下ボタンで「電話帳検索」を選択し、決定ボタンを押す
- ⑤上下ボタンで「行検索」を選択し、決定ボタンを押す
- ⑥手順4以降の操作を行う

●電話をかける前に登録内容を確認するには

手順5のあとに決定ボタンを押すと、電話帳の詳細画面が表示されます。詳細画面からでも手順6～7の操作が行えます。

1つの電話帳に複数の電話番号を登録している場合は、左右ボタンでかけたい電話番号を選択して発信できます(S/M/Lタイプのみ)。



お知らせ

- 外線ボタンの代わりに内線ボタンを押すと、自動的に外線発信番号が入り、電話帳ダイヤルで電話をかけることができるようにすることもできます。詳しくは、主装置の取扱説明書をご覧ください(Lタイプのみ)。
- お買い求め時は、下(電話帳)ボタンを押すとフリガナ検索画面が表示されるように設定されています。「メニュー設定」によって先に表示させる検索画面を切り替えることができます。詳しくは、主装置の取扱説明書をご覧ください。
- 「システム設定」で電話帳操作が禁止の設定のときは、行検索の画面が表示されません。

よくかける相手の方の電話番号を電話帳に登録しておく、電話帳を使って簡単に電話をかけることができます。

電話帳に登録する

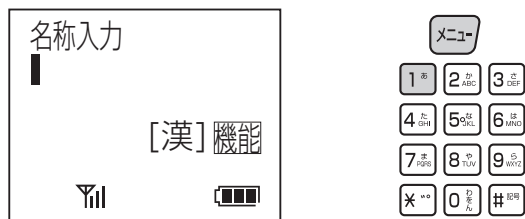
電話帳 1 件につき、下記の内容を登録できます。

<文字を入力するには> (●P36)

- ・ 名称
- ・ フリガナ
- ・ 電話番号
- ・ アイコン
- ・ グループ
- ・ メモリ番号

<例>個別電話帳に登録する場合

1 待ち受け状態で、メニューボタン、の順に押します。



2 登録する相手の名称を入力します。



3 決定ボタンを押します。

「フリガナ入力」画面が表示されます。

フリガナは名称入力時に入力された 12 文字までがそのまま表示されます。



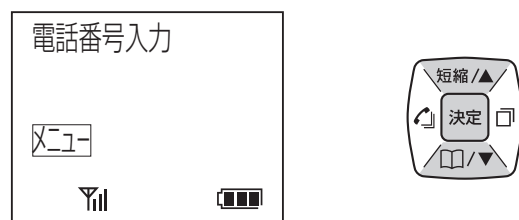
4 入力内容を確認し、決定ボタンを押します。

「編集」画面が表示されます。

※Homeタイプでは電話番号入力画面が表示されますので、手順6に進みます。



5 上下ボタンで (未登録) を選択し、決定ボタンを押します。



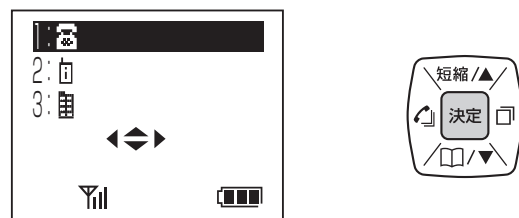
6 登録する相手の電話番号を入力します。

ダイヤル (0 ~ 9, *, #) およびポーズを登録できます。

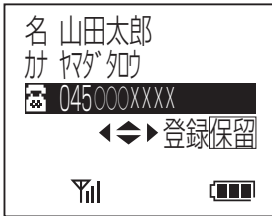


7 決定ボタンを押します。

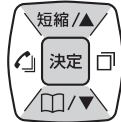
※Homeタイプではグループ選択画面が表示されますので、手順10に進みます。



8 上下ボタンで登録したいアイコンを選択し、決定ボタンを押します。



※Homeタイプではメモリ番号入力画面が表示されますので、手順12に進みます。



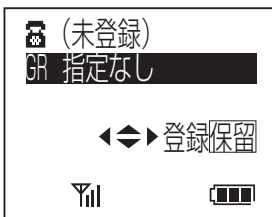
9 上下ボタンで「GR 指定なし」を選択し、決定ボタンを押します。

左右ボタンで画面を切り替えることもできます。

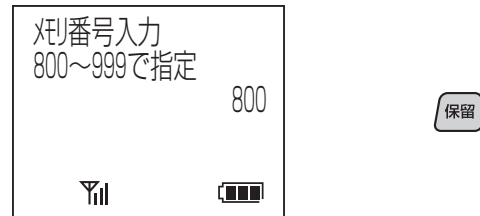


10 上下ボタンで登録したいグループを選択し、決定ボタンを押します。

※Homeタイプではアイコン選択画面が表示されますので、手順8に進みます。



11 保留ボタンを押します。



12 決定ボタンを押します。

空いているメモリ番号に登録されます。表示されているメモリ番号に登録しない場合は、登録したいメモリ番号をダイヤルボタンで押してから、決定ボタンを押します。



ワンポイント

- 文字を入力するには (P36)
- 電話帳を編集するには (P48)
- 電話帳グループの名前をつけるには
電話帳のグループに名前をつけることができます。詳しくは各主装置の取扱説明書をご覧ください。
- 複数の電話番号を登録するには (S/M/Lタイプのみ)
電話帳1件につき、最大4つの電話番号を登録することができます。
 - ①手順8のあとに、上下ボタンで「(未登録)」を選択し、決定ボタンを押す
 - ②手順6～8の手順を行う
- 登録されている電話帳を確認するには
 - ①電話帳を検索して、電話帳の一覧画面を表示する (P38)
 - ②上下ボタンで確認したい電話帳を選択し、決定ボタンを押す
 - ③電話帳の詳細画面で内容を確認する



お知らせ

- フリガナには、半角の「カタカナ」、「英字」、「数字」、「記号」が入力できます。

電話帳を編集するには

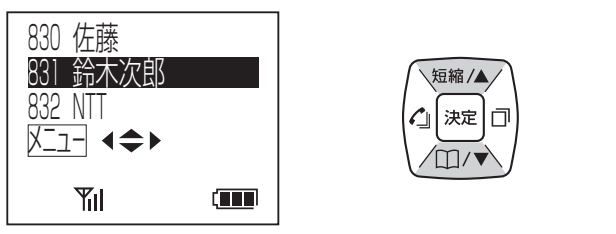
個別電話帳を編集することができます。

電話帳を検索して編集する

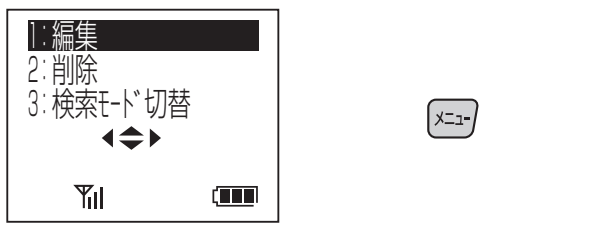
<例>メモリ番号で検索する場合

1 電話帳を検索して電話帳の一覧画面を表示します。(P38)

2 上下ボタンで編集したい電話帳を選択します。



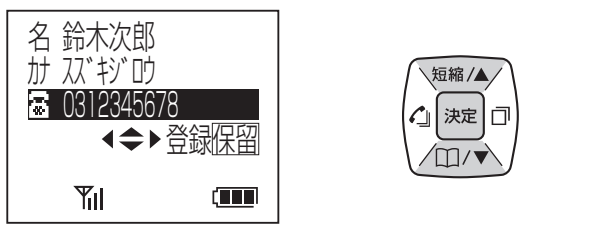
3 メニューボタンを押します。



4 上下ボタンで「編集」を選択し、決定ボタンを押します。

編集画面が表示されます。

※ Homeタイプでは、「個別電話帳登録」または「共通電話帳登録」を選択し、決定ボタンを押してください。



5 「電話帳に登録する」(P46)と同様の操作で、電話帳を編集します。



ワンポイント

●文字を修正するには (P37)

電話帳を削除するには

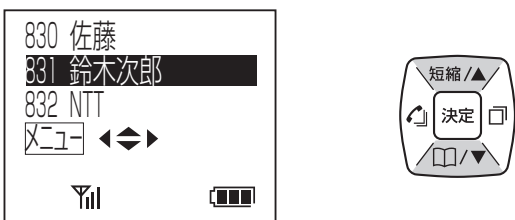
個別電話帳を削除することができます。

電話帳を検索して削除する

<例> メモリ番号で検索する場合

1 電話帳を検索して電話帳の一覧画面を表示します。(P38)

2 上下ボタンで削除したい電話帳を選択します。



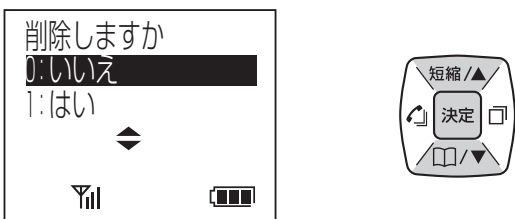
3 メニューボタンを押します。



4 上下ボタンで「削除」を選択し、決定ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

※ Homeタイプでは、「1件削除」を選択し、決定ボタンを押してください。確認画面は表示されず選択した電話帳が削除され、電話帳の一覧画面に戻ります。



5 上下ボタンで「はい」を選択し、決定ボタンを押します。

選択した電話帳が削除され、電話帳の一覧画面に戻ります。



ワンポイント

● 削除を中止するときは

手順5で、上下ボタンで「いいえ」を選択し、決定ボタンを押してください。

発信履歴や着信履歴の電話番号を登録するには

発信履歴や着信履歴の電話番号を個別電話帳、共通電話帳に登録することができます。

履歴から選択して電話帳に登録する

1 右(発信履歴)ボタンまたは左(着信履歴)ボタンを押します。

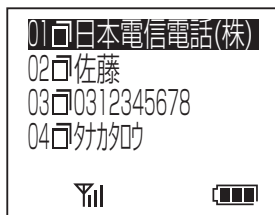
新しい順に発信履歴または着信履歴が4件表示されます。目的の履歴が表示されているときは、手順3に進みます。



または



<例>右(発信履歴)ボタンを押して発信履歴を表示した場合



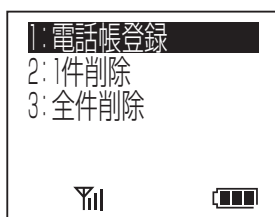
2 上下左右ボタンで登録する履歴を選択します。

左右ボタンを押すごとに、前後の4件が表示されます。



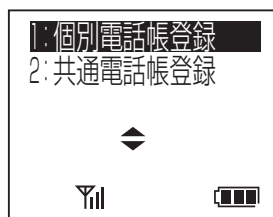
3 メニューボタンを押します。

※Homeタイプでは電話帳選択画面が表示されますので、手順5へ進みます。



4 上下ボタンで「電話帳登録」を選択し、決定ボタンを押します。

電話帳選択画面が表示されます。



5 上下ボタンで「共通電話帳登録」または「個別電話帳登録」を選択し、決定ボタンを押します。

編集画面が表示されます。



6 「電話帳に登録する」(P46)と同様の操作で、電話帳に登録します。



ワンポイント

●文字を入力するには (P36)

前に電話をかけた相手に再びかけるには (発信履歴)

こちらからかけた電話番号は、発信履歴として保存され、発信履歴から相手先を選択して電話をかけることができます。

履歴に保存できる桁数は上限があります。詳しくは主装置の取扱説明書をご覧ください。

発信履歴から選択してかける

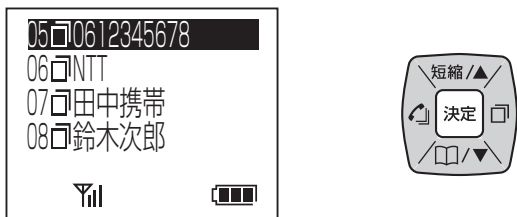
1 待ち受け状態で、右（発信履歴）ボタンを押します。

新しい順に発信履歴が4件表示されます。



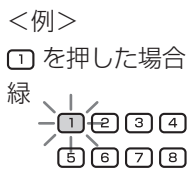
2 上下左右ボタンでかけたい相手を選択します。

左右ボタンを押すごとに、前後の4件が表示されます。



3 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

表示されている電話番号がダイヤルされます。
外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

4 相手の方が出たら、お話しください。



ワンポイント

- 発信履歴の詳細を確認するには
手順2のあとに決定ボタンを押すと、発信履歴の詳細画面が表示されます。この画面が表示されている状態で手順3に進んでも、電話をかけることができます。
- 発信履歴を電話帳に登録するには (P50)
- 発信履歴ダイヤルのあとに続けてダイヤルするには (追加ダイヤル)
発信履歴ダイヤルのあとにダイヤルボタンを押して、ダイヤルを追加することができます。
- 発信履歴が内線の場合には (Lタイプのみ)
手順3で、内線ボタンを押してください。



お知らせ

- 発信履歴は主装置に記録されています。記録される履歴の件数や電話番号の桁数、名前などは主装置タイプによって異なります。詳しくは、主装置の取扱説明書をご覧ください。

発信履歴を削除するには

発信履歴を検索したあとに削除することができます。また、発信履歴の全データを一度に削除することもできます。

発信履歴を選択して削除する

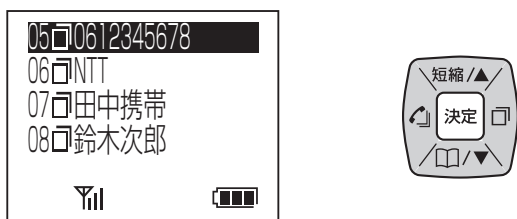
1 待ち受け状態で、右（発信履歴）ボタンを押します。

新しい順に発信履歴が4件表示されます。



2 上下左右ボタンで削除する発信履歴を選択します。

左右ボタンを押すごとに、前後の4件が表示されます。



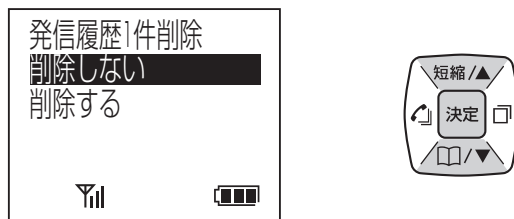
3 メニューボタンを押します。



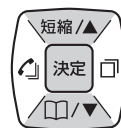
4 上下ボタンで「1件削除」を選択し、決定ボタンを押します。

選択した履歴が削除されます。

※Lタイプでは削除確認画面が表示されますので手順5へ進みます。



5 上下ボタンで「削除する」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押します。



ワンポイント

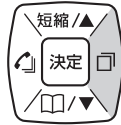
● 削除を中止するときは(Lタイプのみ)

手順5で、上下ボタンで「削除しない」を選択し、決定ボタンを押してください。

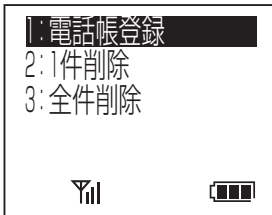
すべての発信履歴を削除する

1 待ち受け状態で、右（発信履歴）ボタンを押します。

新しい順に発信履歴が4件表示されます。



2 メニューボタンを押します。

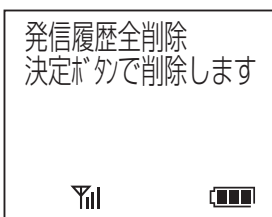


3 上下ボタンで「全件削除」を選択し、決定ボタンを押します。

「全件削除確認」画面が表示されます。



4 上下ボタンで「削除する」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押します。



5 決定ボタンを押します。



ワンポイント

● 削除を中止するときは

手順4で、上下ボタンで「削除しない」を選択し、決定ボタンを押してください。

電話をかけてきた相手にこちらから かけるには (着信履歴)

発信者番号が通知されている着信の電話番号は、着信履歴として保存され、着信履歴から相手先を選択して電話をかけることができます。

履歴に保存できる桁数は上限があります。詳しくは主装置の取扱説明書をご覧ください。

着信履歴から選択してかける

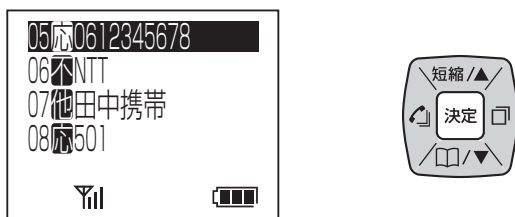
1 待ち受け状態で、左 (着信履歴) ボタンを押します。

新しい順に着信履歴が4件表示されます。



2 上下左右ボタンでかけたい相手先を選択します。

左右ボタンを押すごとに、前後の4件が表示されます。



3 外線ランプが消えていることを確認し、外線ボタンを押します。

表示されている電話番号がダイヤルされます。
外線ランプが緑で点灯し、周期的に2回消えます。



しばらくすると相手の方を呼び出している音が聞こえます。

4 相手の方が出たら、お話しください。



ワンポイント

- 着信履歴に表示される名前について
着信履歴の名前は、記録した電話番号から「システム設定」により共通電話帳、個別電話帳が検索され、表示されます。
- 着信履歴の詳細を確認するには
手順2のあとに決定ボタンを押すと、着信履歴の詳細画面が表示されます。この画面が表示されている状態で手順3に進んでも、電話をかけることができます。
- 着信履歴を電話帳に登録するには (P50)
- 着信履歴のアイコン表示について
☎: 応答した場合
☎: 他の内線電話機が応答した場合
☎: 着信応答しなかった場合
- 着信履歴が内線の場合には
手順3で、内線ボタンを押してください。



お知らせ

- 着信履歴は主装置に記録されています。記録される履歴の件数や電話番号の桁数、名前などは主装置タイプによって異なります。詳しくは、主装置の取扱説明書をご覧ください。
- 着信履歴は最大件数を超えた場合は、古い記録から自動的に消去されます。
- 着信履歴表示中の着信は記録されません。

着信履歴を削除するには

着信履歴を検索したあとに削除することができます。また、着信履歴の全データを一度に削除することもできます。

着信履歴を選択して削除する

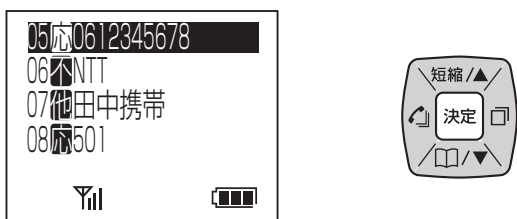
1 待ち受け状態で、左（着信履歴）ボタンを押します。

新しい順に着信履歴が4件表示されます。

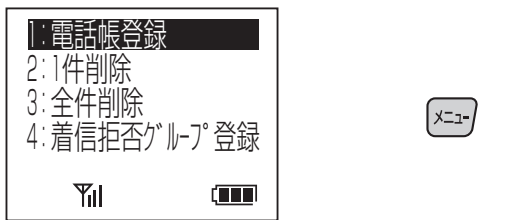


2 上下左右ボタンで削除する着信履歴を選択します。

左右ボタンを押すごとに、前後の4件が表示されます。



3 メニューボタンを押します。



4 上下ボタンで「1件削除」を選択し、決定ボタンを押します。

選択した履歴が削除されます。

※Lタイプでは削除確認画面が表示されますので手順5へ進みます。



5 上下ボタンで「削除する」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押します。



ワンポイント

●着信履歴のアイコン表示について

- ☎: 応答した場合
- ☎: 他の内線電話機が応答した場合
- ☎: 着信応答しなかった場合

●削除を中止するときは(Lタイプのみ)

手順5で、上下ボタンで「削除しない」を選択し、決定ボタンを押してください。

着信履歴を削除するには

すべての着信履歴を削除する

1 待ち受け状態で、左（着信履歴）ボタンを押します。

新しい順に着信履歴が4件表示されます。

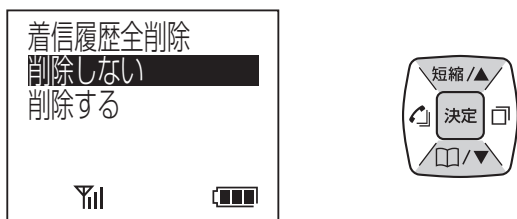


2 メニューボタンを押します。



3 上下ボタンで「全件削除」を選択し、決定ボタンを押します。

「全件削除確認」画面が表示されます。



4 上下ボタンで「削除する」が選択されていることを確認し、決定ボタンを押します。



5 決定ボタンを押します。



ワンポイント

● 着信履歴のアイコン表示について

- ☎: 応答した場合
- ☎: 他の内線電話機が応答した場合
- ☎: 着信応答しなかった場合

● 削除を中止するときは

手順4で、上下ボタンで「削除しない」を選択し、決定ボタンを押してください。

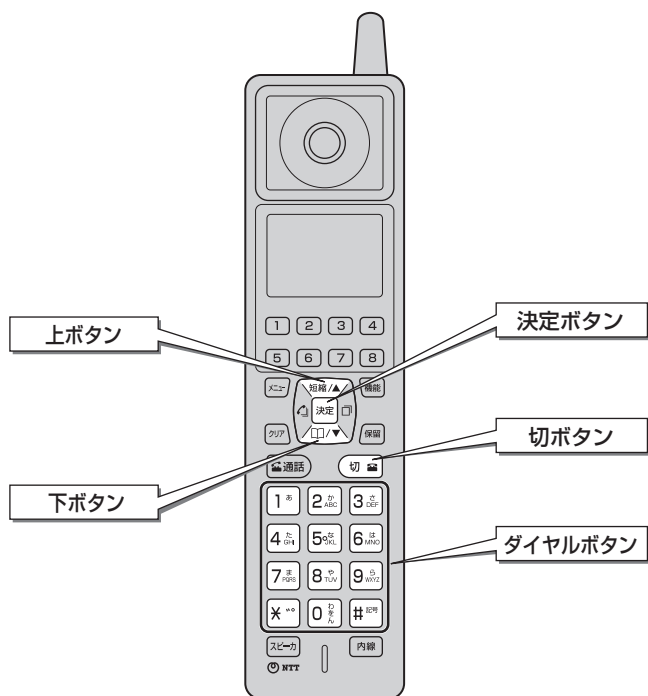
DECT方式コードレス電話機の機能を設定するには

DECT方式コードレス電話機ごとに、次の機能を設定することができます。

■ DECT方式コードレス電話機の機能設定項目

項目	内容	お買い求め時の設定															
「1:ダイヤル押下音設定」 (キータッチトーン)	DECT方式コードレス電話機のボタンを押したときに鳴る音を、鳴らすか鳴らさないか設定できます。 「ダイヤル押下音設定」を「0:設定しない」にした場合であっても、設定変更時の「ピピッ」という確認音は鳴ります。	「1:設定する」 (鳴る)															
「2:圏外警報音設定」 (通話圏外警報音 ●P66)	お話し中に圏外になりそうなことを知らせる「ピピッ…」という音を、鳴らすか鳴らさないか設定できます。	「1:設定する」 (鳴る)															
「3:LED節電設定」 (ランプ節電)	DECT方式コードレス電話機で何も操作を行わないとき、約10秒後にすべてのランプを消灯する機能です。 「LED節電設定」を「1:設定する」にすると、外線ランプが消灯したあとは回線ボタンの状態を確認できなくなります。 その場合は、いったん切ボタンを押してランプを表示させてからご使用ください。	「0:設定しない」 (消灯しない)															
「4:省電力設定」(節電)	待ち受け時間を向上させることができる機能です。 「省電力設定」を「1:設定する」にすると、着信応答などのレスポンス時間が若干遅くなります。通常のレスポンスでご使用するときには、「0:設定しない」にしてください。	「1:設定する」 (節電する)															
「5:クイックモード」	DECT方式コードレス電話機を充電台から取りあげたとき、自動で回線の捕捉を行うか、行わないかを設定できます。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>クイックモード</th> <th>充電台から取りあげた場合</th> <th>充電台に置いた場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0:設定しない</td> <td>何も動作しない</td> <td rowspan="2">切ボタンを押したときと同じ動作*</td> </tr> <tr> <td>1:設定する</td> <td>通話ボタンを押したときと同じ動作</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ スピーカー受話中は、スピーカー受話継続</p>	クイックモード	充電台から取りあげた場合	充電台に置いた場合	0:設定しない	何も動作しない	切ボタンを押したときと同じ動作*	1:設定する	通話ボタンを押したときと同じ動作	「1:設定する」 (自動で行う)							
クイックモード	充電台から取りあげた場合	充電台に置いた場合															
0:設定しない	何も動作しない	切ボタンを押したときと同じ動作*															
1:設定する	通話ボタンを押したときと同じ動作																
「6:通話中着信音設定」	通話中に着信があった場合に、着信音を鳴らすか鳴らさないか設定できます。	「1:設定する」 (鳴る)															
「7:LCDコントラスト設定」	LCDに表示する文字の濃淡を、設定することができます(5段階で設定が可能です)。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td colspan="2">←</td> <td>初期値</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>淡い</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>濃い</td> </tr> </table> <p>選択中のコントラスト値に合わせて、文字の濃淡が変化しますが、決定ボタンを押すまで設定は保存されません。 コントラスト値の選択中に、決定ボタンを押さずに放置した場合、待機中表示に戻り、コントラスト値は保存されているコントラスト値に戻ります。 LCDコントラスト設定中に圏外へ移動した場合には、選択中のコントラスト値で表示が継続しますが、圏内に戻ったときに、保存されているコントラスト値に戻ります。</p>	0	1	2	3	4	←		初期値	→		淡い				濃い	「1:コントラスト1」
0	1	2	3	4													
←		初期値	→														
淡い				濃い													

DECT 方式コードレス電話機の機能を 設定するには



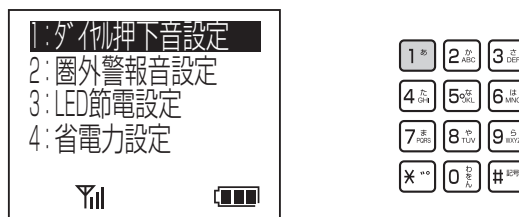
DECT 方式コードレス電話機の 機能を設定する

1 DECT方式コードレス電話機の切ボタンを長く (2秒以上) 押します。

設定メニューが表示されます。



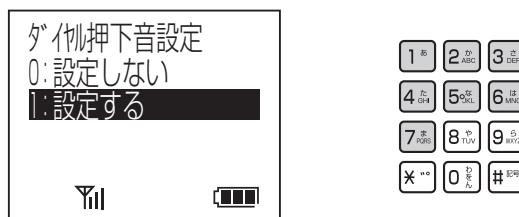
2 [1] を押します。



上下ボタンで「1: データ設定」を選択し、決定ボタンを押しても同じ画面が表示されます。

3 [1] ~ [7] を押します。

- [1]: ダイヤル押下音を設定する
 - [2]: 圏外警報音を設定する
 - [3]: LED 節電を設定する
 - [4]: 省電力を設定する
 - [5]: クイックモードを設定する
 - [6]: 通話中着信音を設定する
 - [7]: LCD コントラストを設定する
- <例>ダイヤル押下音設定の場合



上下ボタンで設定する項目を選択し、決定ボタンを押しても同じ画面が表示されます。

お知らせ

- DECT方式IPコードレス電話機では手順1の設定メニューに「機器管理」メニューが表示されます。(P61)

4 **1** (設定する) または **0** (設定しない) を押します。

「ピピッ」という音が鳴り、設定が終了します。



上下ボタンで「0：設定しない」または「1：設定する」を選択し、決定ボタンを押しても「ピピッ」という音が鳴り、設定が終了します。

(LCDコントラスト設定は、0～4の5段階で設定します。)

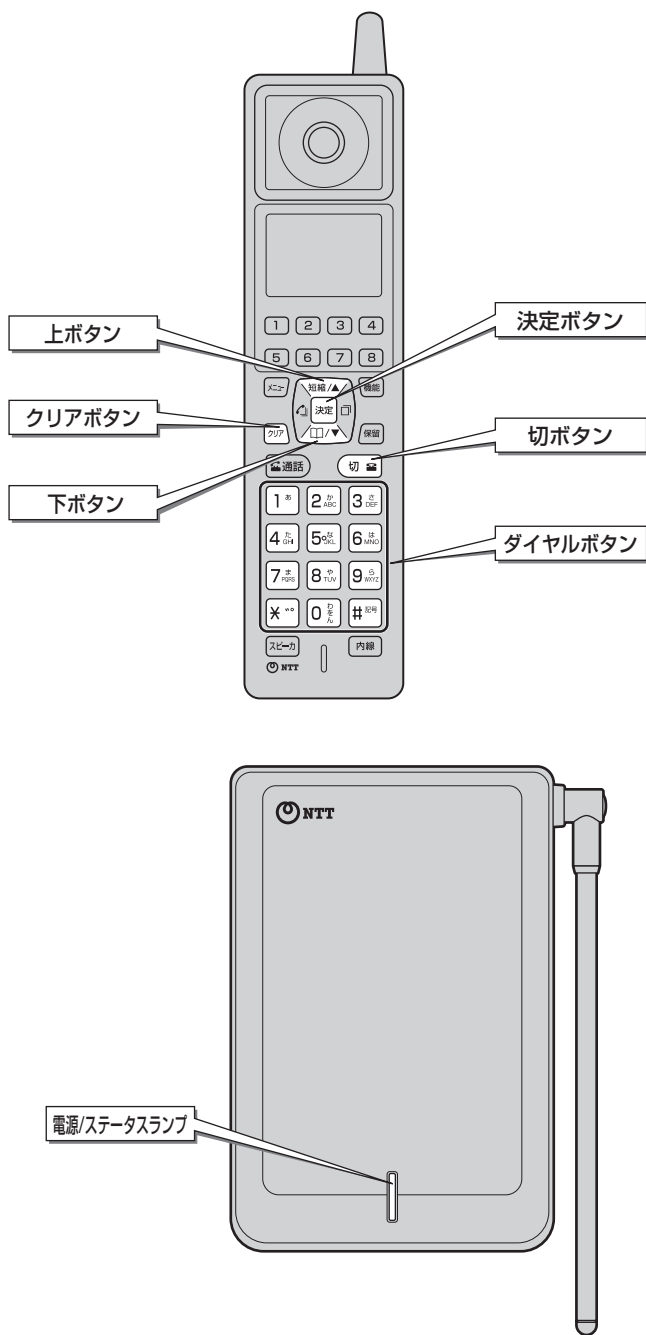


ワンポイント

- 設定を中止するには
切ボタンを押します。

どの DECT 方式コードレス接続装置と 接続しているか確認するには

DECT 方式コードレス接続装置を複数台ご利用の場合、DECT 方式コードレス電話機に対応する DECT 方式コードレス接続装置がわからなくなったとき DECT 方式コードレス電話機から対応する DECT 方式コードレス接続装置のステータスランプを赤点滅させることにより確認することができます。



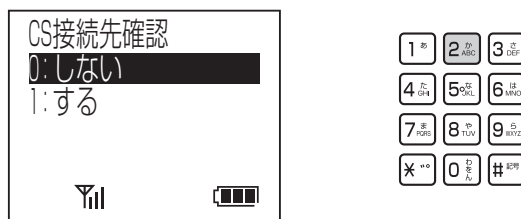
どの DECT 方式コードレス接続装置と接続しているか確認する

1 DECT 方式コードレス電話機の切ボタンを長く (2 秒以上) 押します。

設定メニューが表示されます。



2 [2] を押します。



上下ボタンで「2: CS接続先確認」を選択し、決定ボタンを押しても同じ画面が表示されます。

3 [1] を押します。

対応する DECT 方式コードレス接続装置のステータスランプが赤点滅します。



上下ボタンで「1: する」を選択し、決定ボタンを押しても対応する DECT 方式コードレス接続装置のステータスランプが赤点滅します。

4 DECT 方式コードレス電話機のクリアボタンを押します。

DECT 方式コードレス接続装置のステータスランプが緑点灯に戻ります。



また、赤点滅してから 1 分経過すると緑点灯に戻ります。



お知らせ

- DECT 方式 IP コードレス電話機では手順 1 の設定メニューに「機器管理」メニューが表示されます。(P61)

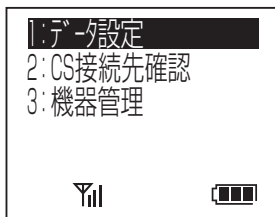
DECT方式コードレス電話機の情報を表示するには

DECT方式IPコードレス電話機に設定されているネットワーク情報表示、接続している主装置情報の表示、DECT方式コードレス電話機の電池使用期間の確認とリセットができます。

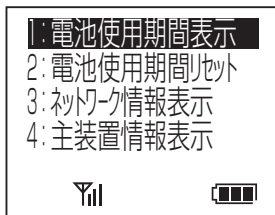
電池使用期間・ネットワーク情報・主装置情報を確認する

1 DECT方式コードレス電話機の切ボタンを長く(2秒以上)押します。

設定メニューが表示されます。



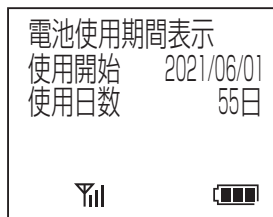
2 3 を押します。



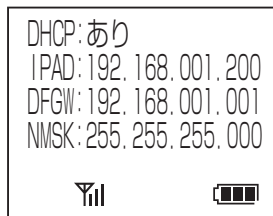
上下ボタンで「3: 機器管理」を選択し、決定ボタンを押しても同じ画面が表示されます。

3 1 または 3 ~ 4 を押します。

1*: 電池使用期間を表示します。



3*: ネットワーク情報を表示します。



4*: 主装置情報を表示します。



上下ボタンで確認する項目を選択し、決定ボタンを押しても同じ画面が表示されます。

電池使用期間をリセットする

電池パックを取り付け後、電池使用期間を更新するためにリセットを行います。

1 DECT方式コードレス電話機の切ボタンを長く(2秒以上)押します。

設定メニューが表示されます。



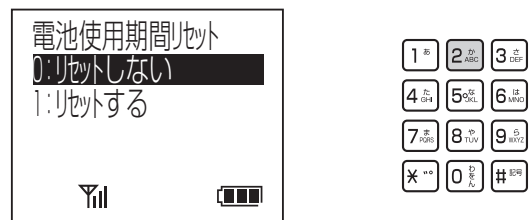
2 **3**を押します。

設定メニューが表示されます。



上下ボタンで「3: 機器管理」を選択し、決定ボタンを押しても同じ画面が表示されます。

3 **2**を押します。



上下ボタンで「2: 電池使用期間リセット」を選択し、決定ボタンを押しても同じ画面が表示されます。

4 **1**を押します。

「ピピッ」という音が鳴り設定が終了します。



上下ボタンで「1: リセットする」を選択し、決定ボタンを押しても「ピピッ」という音が鳴り設定が終了します。リセットしない場合は**0**を押す、または「0: リセットしない」を選択し決定ボタンを押してください。



ワンポイント

- 設定を中止するには切ボタンを押します。



お知らせ

- 本機能は DECT 方式 IP コードレス電話機のみでご利用になれます。
- 電池使用期間リセットは、正しい使用開始日を設定するために、主装置に登録された状態で行ってください。

電池交換のしかた／電池の残量がなくなるときは

DECT方式コードレス電話機には専用の電池パックが入っています。電池パックは消耗品です。DECT方式コードレス電話機の使用頻度にもよりますが、約2年ご使用になれます。長時間充電してもすぐに電池の残量がなくなる場合は、電池パックが消耗している可能性があります。新しい電池パック（カナ品名「CT-デンチパック-062」）に交換してください。なお、ご購入についてはサプライセンタ ☎0120-868289、またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

電池交換のしかた／電池の残量がなくなるときは
DECT方式コードレス電話機の情報を表示するには

3より便利に使う

4ご参考に

■電池パックを交換する

- 1** 充電台から DECT 方式コードレス電話機を取りあげます。

DECT方式コードレス電話機の外線ランプまたは内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。



- 2** DECT 方式コードレス電話機の切ボタンを押します。

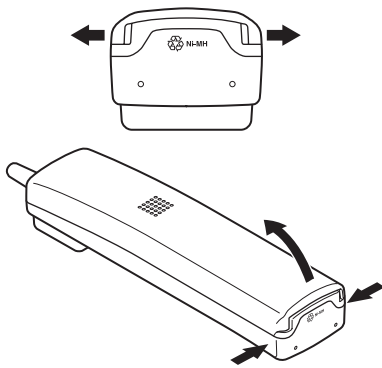
DECT方式コードレス電話機の外線ランプまたは内線ランプが消えます。



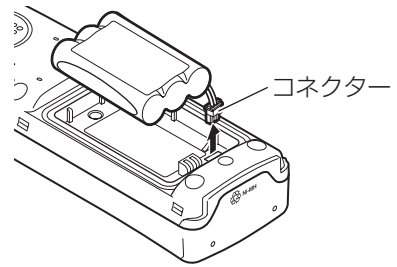
- 3** 電池カバーを取り外します。

DECT方式コードレス電話機の溝に指をかけて、左右両方のツメを外します。

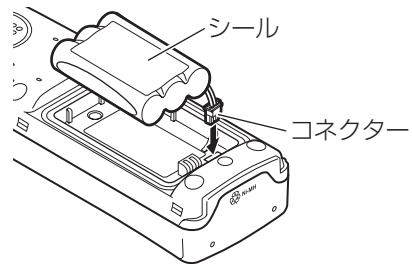
DECT方式コードレス電話機を手で押さえながら電池カバーを引きはがします。



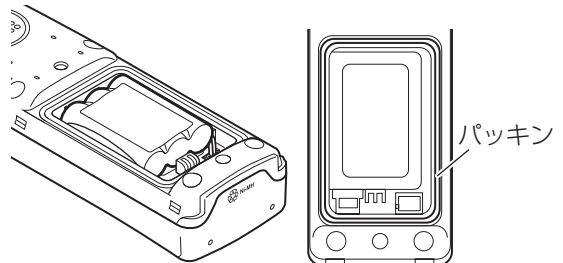
- 4** 電池パックを取り出します。
電池パックを取り出すときは、コネクターを持って外してください。



- 5** 新しい電池パックのコネクターを差し込みます。
コネクターは赤いコードが左側になるようにして、最後まで確実に差し込みます。

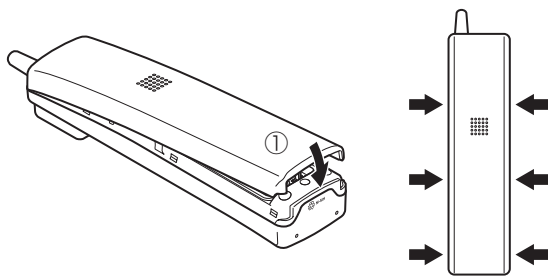


- 6** 電池パックを入れます。
コードは、パッキンと重ならないように電池の横に押し込んでください。

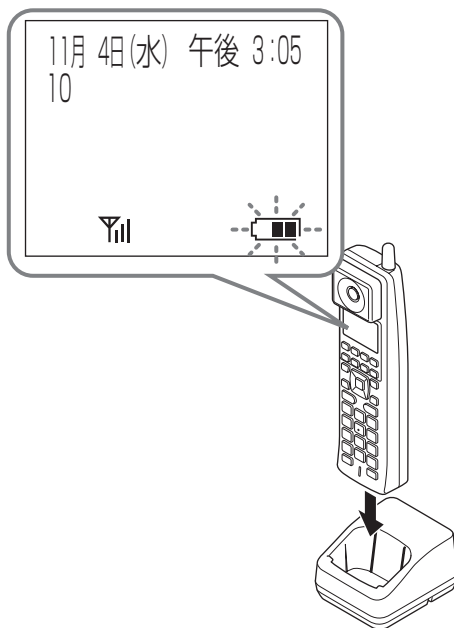


電池交換のしかた／電池の残量がなくなってきたときは

- 7** 電池カバーを取り付けます。
アンテナ側のツメを引っ掛け、電池カバーを①の方向へ「パチッ」と音がするまでしっかりと押してください。
電池カバー側面の6箇所のツメ部分を押し込んで、確実に固定されているか確認してください。



- 8** DECT 方式コードレス電話機を充電台に置き、12 時間以上充電します。
DECT 方式コードレス電話機のディスプレイに、カレンダー・時計が表示されたのを確認して、DECT 方式コードレス電話機を充電台に置いてください。そのあと、ディスプレイの電池残量表示が点滅したことを確認してください。

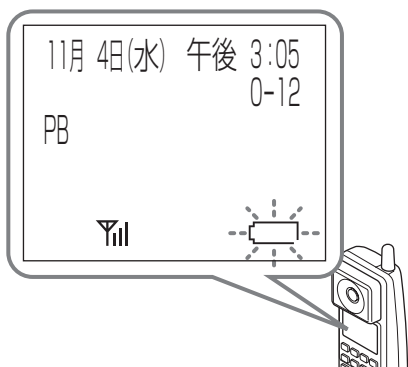


お知らせ

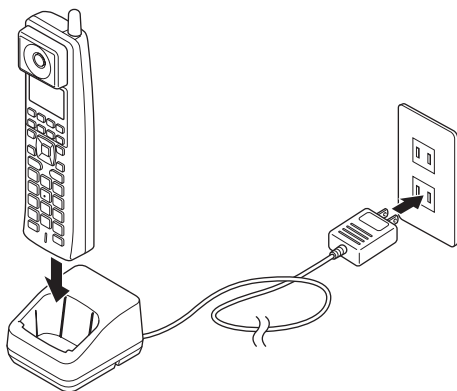
- 電池カバーを正しく閉めないと、防水性能が発揮されません。
- 電池パックのコードがパッキンと重なった状態で電池カバーを取り付けると、コードがパッキンと電池カバーに挟まれ、損傷の原因となります。コードは電池の横に押し込み、挟まれないように注意してください。

■通話中に電池がなくなると

- ① 「ピーピー…」という低電圧警報音が約 30 秒ごとに鳴り、電池残量表示が点滅します。できるだけ早くお話を終わらせてください。



- ② DECT 方式コードレス電話機を充電台において、12 時間以上充電してください。



※ 充電に関する説明は P20 と P25 をご覧ください。

お知らせ

- お話中に低電圧警報音が鳴ってもそのままお話を続けると、約 1 分で電話が切れてしまいますので、ご注意ください（なお、電池の状態などによってはそれよりも短い時間で切れてしまうこともあります）。
- 着信音量を「切」に設定してあっても警報音は鳴ります。
- 着信中に電池がなくなると着信音は停止し、応答できなくなります。
- 次の場合は、充電台に置いて充電するまで DECT 方式コードレス電話機のボタンで操作はできません。
 - ・ お話中に低電圧警報音が鳴ったため、切ボタンを押してお話を終了したとき
 - ・ 充電台に DECT 方式コードレス電話機を置かず、DECT 方式コードレス電話機の使用もしていない状態で、電池残量表示が点滅したとき

■電池パック回収のお願い



使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

危険

●電池パックについて

電池パックの取り扱いには、次の点にご注意ください。

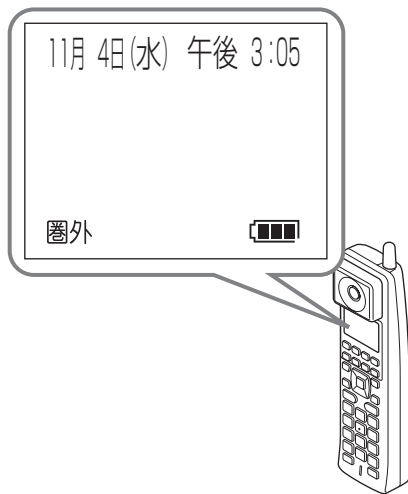
- ・ 必ず専用のもをお使いください。
- ・ 取り出して充電しないでください。
- ・ 火の中に投入したり、分解・加熱しないでください。
- ・ 充電には、専用の充電台をお使いください。
- ・ 端子を短絡させないでください。

■電池パックについて

- 長時間充電してもすぐに電池の残量がなくなる場合は、電池パックが消耗している可能性があります。新しい電池パックに交換してください。
- 電池パックは約 2 年ご利用になれます。電池パックは消耗品なので定期的な交換をお勧めします。
- ご購入については、サブライセンタ ☎ 0120-868289、またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。
(電池パック:カナ品名「CT-デンチパック-062」)

■お話し中のとき

お話し中に圏外に近づくと「ピピッ…」という通話圏外警報音が鳴ります。この状態でさらに圏外へ移動すると、DECT方式コードレス電話機のディスプレイに「圏外」が表示され電話が切れます。警報音が鳴らないところまでDECT方式コードレス接続装置の近くに移動してお話してください。



■電話をかけようとしたとき

圏外から電話をかけると、「ピピピピ」というエラー音が鳴ります。

DECT方式コードレス接続装置に近づいて、もう一度おかけ直してください。

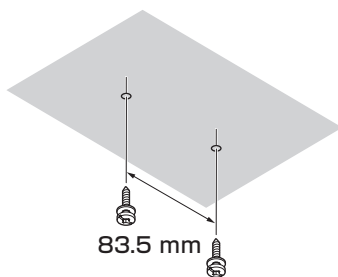


お知らせ

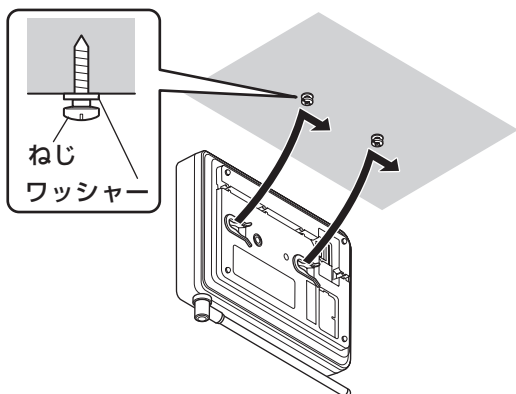
- 電波の状態によっては、通話圏外警報音が鳴らずに電話が切れることがあります。お話し相手の声が聞こえなくなったときは、DECT方式コードレス接続装置の近くまで移動してください。
- お話し中に通話圏外警報音が鳴ったときは、約5秒で電話が切れることがありますのでご注意ください。
- コンクリート壁などで区切られている場合など、周囲の環境条件によってお話しできる範囲が狭くなることがあります。
- 着信音量を「切」に設定してあっても警報音は鳴ります。
- DECT方式コードレス電話機の機能設定により「圏外警報音設定」を「0:設定しない」にしているときは、警報音は鳴りません。
- 通話圏外付近では、着信のときに着信音は鳴りますが、ボタンの操作を禁止しているので応答できない場合があります（ボタンを押したときにピピピピとエラー音が鳴ります）。できるだけDECT方式コードレス接続装置に近づいてご使用ください。
- 圏外になったとき、DECT方式コードレス接続装置の電源/ステータスランプが変化します。(●P22)

■ DECT方式コードレス接続装置を天井に設置して使う

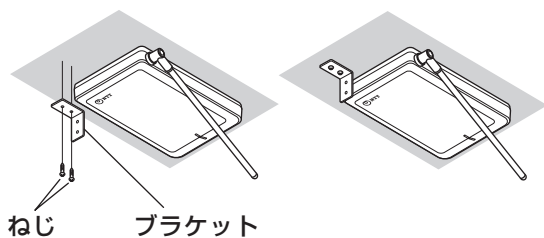
- 1** DECT方式コードレス接続装置付属の壁掛けねじを取り付けます。
ねじがワッシャーに突き当たるまで締め付けてください。



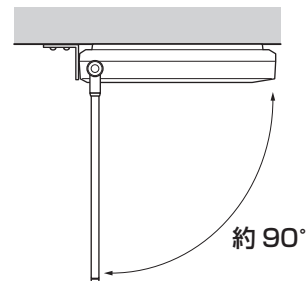
- 2** DECT方式コードレス接続装置を取り付けます。



- 3** 天井設置用ブラケットを付属の天井設置用ねじで留めます。
接続装置が外れないようにブラケットで固定します。
ねじがブラケットに突き当たるまで締め付けてください。



- 4** アンテナを天井から約 90° に傾けます。



付属品／添付品をご利用になるには
通話できる範囲から外れたときは

お知らせ

- あらかじめ取り付ける場所で発信・着信および通話できるかどうか確認してください。

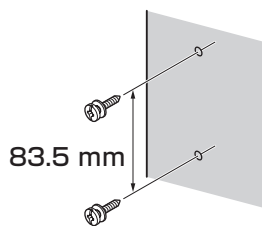
警告

ご使用になる前に、確実に取り付けられているか確認してください。
薄いベニヤ板や柔らかい場所などに取り付けると、重みでねじが抜けてDECT方式コードレス接続装置や天井設置用ブラケットが落下し、故障やけがの原因となることがあります。

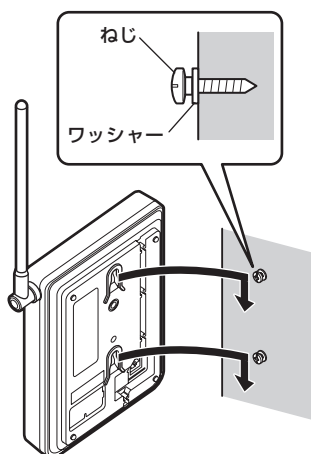
付属品／添付品をご利用になるには

■ DECT方式コードレス接続装置を壁に掛けて使う

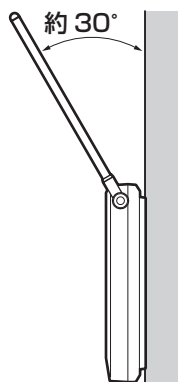
- 1 DECT方式コードレス接続装置付属の壁掛けねじを取り付けます。
ねじがワッシャーに突き当たるまで締め付けてください。



- 2 DECT方式コードレス接続装置を取り付けます。

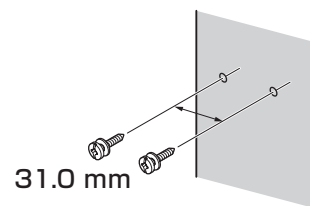


- 3 アンテナを壁から約 30° 傾けます。

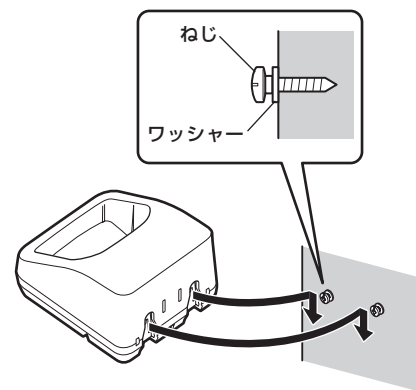


■ 充電台を壁に掛けて使う

- 1 DECT方式コードレス電話機付属の壁掛けねじを取り付けます。
ねじがワッシャーに突き当たるまで締め付けてください。



- 2 充電台を取り付けます。



お知らせ

- あらかじめ取り付ける場所で発信・着信および通話できるかどうか確認してください。

注意

ご使用になる前に、確実に取り付けられているか確認してください。薄いベニヤ板や柔らかい壁などに取り付けると、重みでねじが抜けて DECT方式コードレス接続装置や充電台が落下し、故障やけがの原因となることがあります。

DECT方式IPコードレス接続装置の ファームウェアを更新する

DECT方式IPコードレス接続装置のファームウェアを更新するには、パソコン、LANケーブル、給電HUBが必要です。パソコンのLANポートと本商品のLANポートを給電HUBにLANケーブルで接続してください。

お客様にご用意いただくもの

・パソコン

10BASE-Tまたは100BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tに対応したLANポートを備えていることをご確認ください。

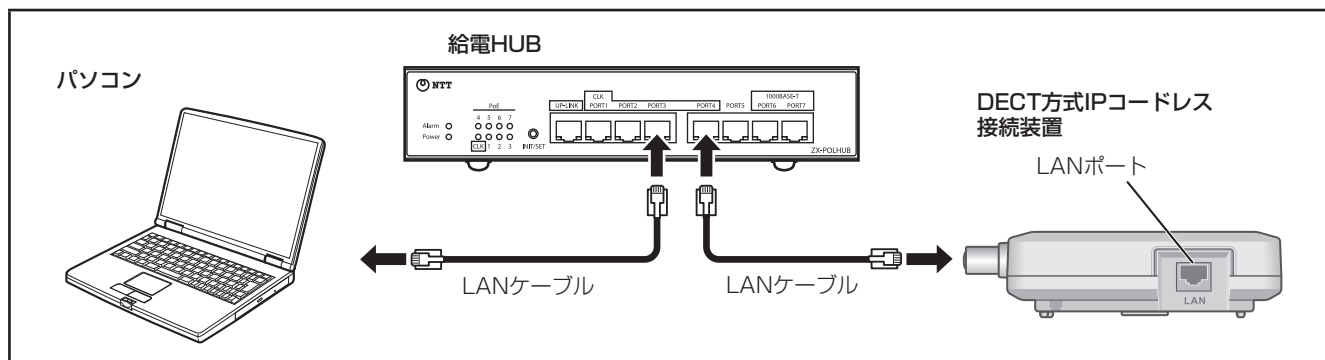


・LANケーブル

LAN配線用カテゴリ 5eのLANケーブルをご用意ください。



本商品とパソコンの接続構成



DECT方式IPコードレス接続装置のファームウェアを更新する
付属品/添付品をご利用には



お知らせ

- 2台以上のパソコンから同時にファームウェアを更新を行わないでください。
- ファームウェア更新を行うとき、本商品のIPアドレスが192.168.1.100になりますので、同じIPアドレスの機器が給電HUBに接続されていないことを確認してください。
- DECT方式スターコードレス接続装置のファームウェアを更新することはできません。

DECT方式IPコードレス接続装置の ファームウェアを更新する

DECT方式IPコードレス接続装置のファームウェアを更新するためにパソコンのネットワーク設定が必要です。

この取扱説明書では、Windows 10で操作する方法を説明しています。

ネットワークの設定をする

LANカードの取り付けとドライバのインストールは、ご利用機器メーカーのインストール指示に従い、あらかじめ行っておいてください。

1 設定を表示する。

Windows 10を起動し、スタートメニューから [設定] をクリックします。

2 「イーサネット」を表示する。

[ネットワークとインターネット] をクリックし、メニューから [イーサネット] をクリックします。

3 「ネットワーク接続」を表示する。

関連設定から [アダプターのオプションを変更する] をクリックします。

4 「イーサネットのプロパティ」を表示する。

[イーサネット] をクリックし、[この接続の設定を変更する] をクリックします。

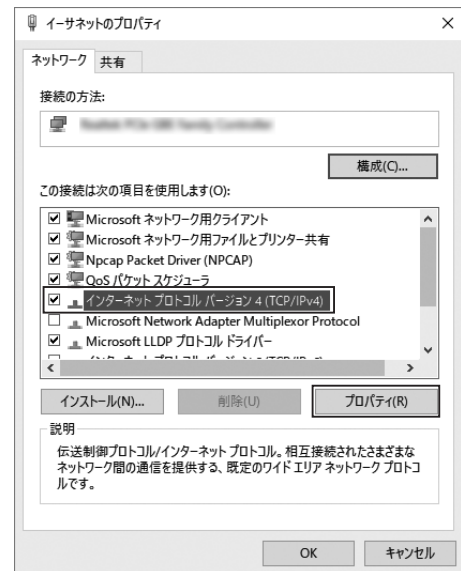


ワンポイント

- [ネットワーク接続]の画面に、ブロードバンド接続が表示されていて、規定の接続に設定されている場合は、ブロードバンド接続を右クリックして、サブメニューから [既定の接続を解除] をクリックしてください。

5 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」を表示する。

[イーサネットのプロパティ] の一覧から [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。



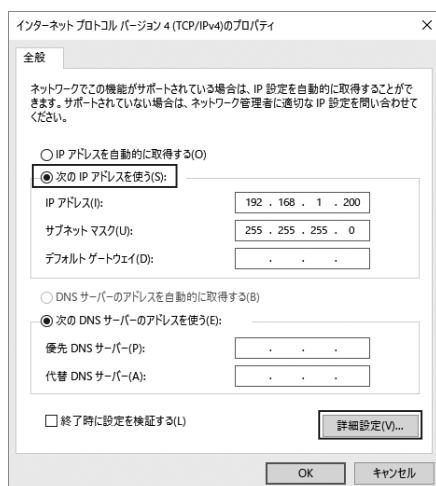
6 「IPアドレスとサブネットマスク」を設定する。

[インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)のプロパティ]の[次のIPアドレスを使う]を選択してください。

IPアドレスは、「192.168.1.1 ~ 192.168.1.99、192.168.1.101 ~ 192.168.1.254」の範囲で設定してください。

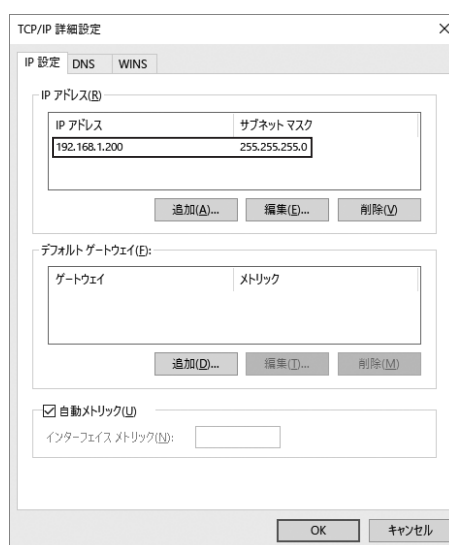
サブネットマスクは「255.255.255.0」を設定してください。

IPアドレスとサブネットマスクの設定を確認したら「詳細設定」をクリックします。



7 「IPアドレスとサブネットマスク」を確認し、[OK]をクリックする。

[TCP/IP 詳細設定]の[IP設定]タブをクリックして、一覧に設定したIPアドレスサブネットマスクが表示されているか確認します。



8 「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」の[OK]をクリックする。

9 「イーサネットのプロパティ」の[OK]または[閉じる]をクリックする。

10 「ネットワーク接続」の[閉じる]をクリックする。

11 「設定」の[閉じる]をクリックする。

ファームウェアを更新する

ファームウェアを更新します。

ファームウェアは事前にパソコンの任意の場所に保存してください。

この取扱説明書では、「C:\firm」にファームウェアを保存している場合を例に説明しています。

1 FTPモードを起動する

本商品からLANケーブルを抜き、底面の工事者設定用スイッチのカバーをはずします。

工事者設定用スイッチの2と3をON側に設定し、LANケーブルを接続してください。

FTPモードの起動は、ステータスランプが橙点灯、消灯後、約30秒かかり、手順5でログインするまでステータスランプは消灯しています。

2 コマンドプロンプトを起動する

Windows10を起動し、スタートメニューからコマンドプロンプトを起動します。

3 ファームウェアの保存ディレクトリに移動する

コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
cd c:\firm
```

4 本商品にFTP接続する

コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
ftp 192.168.1.100
```

5 ユーザー名とパスワードを入力し、ログインする

ユーザー名: ZXDECT

パスワード: 12345678

ログインすると、本商品のステータスランプが緑点滅になります。

6 ファームウェアを転送する

コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
put ZX-IPDECT.prg
```

転送中は、本商品のステータスランプが橙点滅になり、転送が終了すると緑点滅に戻ります。

7 ログアウトする

コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
quit
```

ログアウト後、本商品は自動的に再起動し、ファームウェアを更新します。

8 通常モードに戻す

手順7で本商品が再起動後、ステータスランプが橙点灯、消灯、橙点灯、消灯の順に表示されることを確認後、LANケーブルを抜き、工事者設定用スイッチの2と3をOFF側に戻し、LANケーブルを接続してください。



お知らせ

- ファームウェアのファイル名は変更しないでください。
- ファームウェアの更新を行っているときに本商品の電源を切らないでください。
- セキュリティソフト、ファイアウォールの影響によりファームウェアの転送に失敗することがあります。転送が失敗する場合、一時的にセキュリティソフト、ファイアウォールを無効にしてから更新を行ってください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
DECT 方式コードレス電話機が使えない	DECT 方式コードレス接続装置の電話機コードまたは LAN ケーブルが抜けている	DECT 方式コードレス接続装置の電話機コードまたは LAN ケーブルを正しく接続してください	☛P21
	電池パックが正しくセットされていない	電池パックを正しくセットしてください	☛P63 P64
	電池残量が少なくなった	充電してください	☛P25
	電池が消耗している (電池の寿命)	新しい電池パックと交換してください	☛P63 P64
	DECT 方式コードレス接続装置から離れすぎている	DECT 方式コードレス接続装置の近くに移動してください	☛P66
	給電 HUB を使用していない *	指定の給電 HUB を使用してください	—
	DECT 方式 IP コードレス接続装置が FTP モードになっている	工事者設定用スイッチを通常モードに設定してください	☛P21
DECT 方式コードレス電話機の着信音が鳴らない	DECT 方式コードレス電話機の着信音量が「切」に設定されている	着信音量を設定してください	☛P26
	DECT 方式コードレス接続装置から離れすぎている	DECT 方式コードレス接続装置の近くに移動してください	☛P66
電話がかかけられない	DECT 方式コードレス接続装置から離れすぎている	DECT 方式コードレス接続装置の近くに移動してください	☛P66
	使用できる外線・内線がすべて使用中	少し待ってからかけ直してください	☛P27
相手の声が小さい	受話音量を小さく設定している	受話音量を変更してください	☛P26
相手の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	受話音量を大きく設定しすぎている	受話音量を変更してください	☛P26
自分の声が相手側にひずんで聞こえる	DECT 方式コードレス電話機送話口と口が近すぎる	送話口と口を離してお話してみてください	—
通話に雑音が入ったりお話しが途切れる	DECT 方式コードレス接続装置から離れすぎている	DECT 方式コードレス接続装置の近くに移動してください	☛P66
	電池残量が少なくなった	充電してください	☛P25
	DECT 方式コードレス接続装置と DECT 方式コードレス電話機の間障害物がある	障害物のないところへ移動してください	—
	近くに雑音を発生する家電製品や OA 機器がある	それらの機器からできるだけ離れてください	—
	近くで同じコードレス電話機をたくさん使っている	コードレス電話機同士の間隔は、1 m 以上離してご使用ください	—
	相手の方と同時に話しをしている。またはお話ししている周辺がうるさい	相手の方と同時に話さず、交互に話してみてください。または、静かな場所に移動してみてください	—

※ 給電HUBはDECT方式IPコードレス電話機が対象になります。

故障かな?と思ったら

こんなときは	原因	確認してください	参照ページ
12 時間以上充電しても、 すぐに使えなくなる	DECT 方式コードレス電話機を充電台 の上に正しく置いていない	DECT 方式コードレス電話機を充電台 に正しく置き、ディスプレイの電池残 量表示が点滅しているか確認してくだ さい	☛P25 P65
	電池が消耗している（電池の寿命）	新しい電池パックと交換してください	☛P63 P64
お話し中に「ピーピー…」 という警報音が鳴る	電池の残量が少なくなった	できるだけ早くお話しを終わらせ、充 電してください	☛P65
お話し中に「ピピッ…」 という警報音が鳴る	圏外に出ている	DECT 方式コードレス接続装置の近く に移動してください	☛P66
音声メールのメッセージ の先頭が再生されない	無線接続のため、音声接続処理に時間 がかかっている	内線ボタンを押して、「ツーツ…」 という音を確認してから、音声メール の再生ボタンを押してください	—
充電されない	充電台が正しく設置されていない	充電台と電源アダプターが正しく接続 されているか確認してください	☛P24
ワンタッチキーにスピー カーを登録しているが、ス ピーカー受話にならない	DECT 方式コードレス電話機の動作 で、スピーカー受話にならない場合が ある	スピーカーを割り付けたワンタッチ キーは登録しないでください	—

●こんな音がしたら

	音	こんなときに…	音の意味
電話をかける／ 受ける	ツーツー… (内線発信音)	内線ボタンを押したとき	他の内線電話機を呼び出すことができます
	ツー (外線発信音)	外線ボタンを押したとき	外に電話をかけることができます
	ブルルル… (呼出音)	外線または内線で相手の方を呼び出しているとき	相手の方を呼び出しています
	ブーブー… (話中音)	電話をかけた相手の方がお話し中のとき、またはすべての外線・内線電話機が使用中のとき	お話し中です
設定登録	ピピッ	(設定を確定するために) 決定ボタンを押したとき	設定されました
その他	ピンポン	ドアホンから呼び出されているとき	ドアホンから呼び出されています
	ピピッ… (DECT方式コードレス電話機 通話圏外警報音) ※1	お話し中に圏外に近づいたとき	圏外のため、電話が切れます
	ピーピー… (DECT方式コードレス電話機 低電圧警報音) ※1	お話し中に電池残量がなくなったとき	電池残量がなくなりました
	ピピピピ (DECT方式コードレス電話機 エラー音) ※1	圏外から電話をかけたとき	圏外のため、電話をかけることができません
	ピッ (キータッチトーン)	DECT方式コードレス電話機のボタンを押したとき	ボタンが押されました
		DECT方式コードレス電話機を充電台から取りあげたとき	DECT方式コードレス電話機が充電台から取りあげられました
		DECT方式コードレス電話機を充電台に置いたとき ※2	DECT方式コードレス電話機が充電台に置かれました
	プブ (通信中着信音) ※1	お話し中に着信があるとき	お話し中に着信があります
保留メロディ (保留音) ※3	電話が保留されたとき	電話が保留されています	

※1 DECT方式コードレス電話機の着信音量を「切」に設定してあっても、これらの警報音は鳴ります。

※2 DECT方式コードレス電話機を充電台に置いたときに音がしない場合は、DECT方式コードレス電話機の充電が行われないうちがあります。その場合は、DECT方式コードレス電話機をもう一度充電台へ置き直してください。

※3 主装置の設定により、保留メロディを切り替えることができます。ただし、DECT方式IPコードレス電話機は内線の保留メロディを切り替えることができません。

アルファベット

DECT 方式 IP コードレス接続装置のファームウェアを 更新する	69
DECT 方式コードレス接続装置	16、21
アンテナを立てる	26
確認する	60
壁に掛ける	68
天井に設置する	67
DECT 方式コードレス電話機	16、17
DECT 方式コードレス電話機に対応する DECT 方式コードレス接続装置が わからないとき	60
音量を調節する	26
キータッチトーンを設定する	57
機能を設定する	57
準備する	23、24、25、26
無線接続準備中のとき	20
DECT 方式コードレス電話機を充電台から 外しておくとき	26
外線電話を受ける	28
外線電話をかける	27
ドアホンからの呼び出しに応答する	34
ドアホンの周囲の音を聞く	35
内線呼び出しを受ける	31、33
LCD コントラスト設定	57
LED 節電設定	57
NTT 通信機器お取扱相談センタシール	16

五十音

【ア行】

アンテナ	21、26、67
上ボタン	17、26
オフフック外線捕捉	26、27
オフフック内線捕捉	26
音量	
受話音量を調節する	26
スピーカー受話音量を調節する	26
着信音量を調節する	26

【カ行】

外線着信	28
外線発信	27
回線ボタン	17
外線ボタン	17

回線ボタンのランプ	19
外線ランプ	19
各部の名前	17、21
壁に掛けて使う	68
簡易秘話機能	15
キータッチトーン	
DECT 方式コードレス電話機の キータッチトーンを設定する	57
機能ボタン	17
共通保留	29
切ボタン	17、26
クイックモード	57
クリアボタン	17
決定ボタン	17
圏外	66
圏外警報音設定	57
通話圏外警報音	26、57、66、75
電話をかけようとしたとき	66
口頭転送	30
故障かな?と思ったら	73
こんな音がしたら	75

【サ行】

下ボタン	17、26
充電	25、63、64、65
充電部	17、18、25
充電台	16、18、24、25、26、68
受話音量を調節する	26
受話口	17
仕様	78
上下左右ボタン	17
省電力設定	57
スピーカー	18
スピーカー受話音量を調節する	26
スピーカボタン	17
セットの確認	16
送話口	17

【タ行】

ダイヤルボタン	17
短縮ボタン	17
着信音量	
着信音量を「切」に設定しているとき ……	28、31、33、35、65、66、73、75
着信音量を調節する	26
着信履歴ボタン	17

通話圏外警報音	26、57、66、75
DECT方式コードレス電話機の 通話圏外警報音を設定する	57
通話時間表示例	20
通話中着信	33、34
通話中着信音設定	57
通話できる範囲	26、66
通話できる範囲から外れたとき	66
通話ボタン	17
ディスプレイ	17
ディスプレイの見かた	20
低電圧警報音	65、75
電源/ステータスランプ	22、60
電池カバー	16、18、23、63、64
電池残量	20、25、65
電池の残量がなくなったとき	63、64、65
電池パック	16、23、63、64、65
電池パック回収のお願い	65
電池パックを交換する	63、64
電池パックを取り付ける	23
電波に関するご注意	12
電波について	12
電波の強さ	20
電話がかかってきたとき	28
相手の方に待っていただく	29
受ける	28
着信音量を「切」に設定している場合	28
電話機コード差込口	21
電話帳ボタン	17
電話をかける	27
相手の方に待っていただく	29
オフフック外線捕捉	27
電話番号を確認してからかける (プリセットダイヤル)	27
発信音を確認してからかける	27
電話を取りつぐ	30
ドアホンとお話する	34
ドアホンからの呼び出しに応答する	34
ドアホンの周囲の音を聞く	35
特長	15
取扱説明書	16

【ナ行】

内線通話	32
内線でお話する	32
内線ボタン	17
内線ランプ	19

【ハ行】

発信履歴ボタン	17
左ボタン	17
付属品/添付品	16、67
プリセットダイヤル	27
フル充電	15、25
保守サービス	79
保留	29
保留転送	30
呼び出される方が近くにいるとき(口頭転送)	30
保留ボタン	17
本体	16

【マ行】

右ボタン	17
無線接続	20
メニューボタン	17

【ラ行】

ランプ表示	19、22
何も操作を行わないときランプを消灯する	57

	DECT方式コードレス接続装置	DECT方式コードレス電話機	充電台
寸法・質量	幅約 120 mm × 奥行き約 180 mm × 高さ約 37mm (アンテナ含まず) DECT 方式スターコードレス 電話機：約 240g DECT 方式 IP コードレス電話機： 約 240 g	幅約 50 mm × 奥行き約 40 mm × 高さ約 215 mm 約 230 g	幅約 68 mm × 奥行き約 51 mm × 高さ約 81 mm 約 80 g(電源アダプターを含まず)
使用電源	DECT 方式スターコードレス 電話機：主装置からの給電 DECT 方式 IP コードレス電話機： 給電 HUB からの給電	ニッケル水素電池 (DC 3.6 V)	AC 100 V (50/60 Hz) 専用電源アダプター DC 5 V 1 A
消費電力	DECT 方式スターコードレス 電話機：最大 6W、最大 5Kcal/h DECT 方式 IP コードレス電話機： 最大 6W、最大 5kcal/h	最大 0.4W、最大 0.34kcal/h	——
通話可能範囲	約 100 m (見通し距離) ^{※1}		——
連続通話時間	——	約 5 時間 (フル充電時)	——
連続待受時間	——	圏内時約 100 時間 (フル充電時) ^{※2}	——
充電完了時間	——	約 12 時間	——

※ 1 設定により最大約 200 m へ変更可能です。詳細は当社サービス取扱所またはお買い求めになった販売店へご相談ください。

※ 2 連続待受時間は、ランプが点灯しないときで、また省電力設定ありのときの時間です。

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。

当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●修理に要した費用をいただきます。 (修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。) (故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。) ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要となります。

● 故障に関するお問い合わせ

局番無しの113番(無料)へご連絡ください。

※携帯電話・PHSからは「0120-444113」(無料)にてお受けしております。

受付時間：24時間(午後5時～翌朝午前9時の間は録音による受付となります)

● 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品(商品の性能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後7年間保有しております。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：https://web116.jp/ced/index_biz.html
<https://flets-w.com/solution/>

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-970413

携帯電話・PHS・050IP 電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～17：00

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■ NTT 西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先： 0120-248995

受付時間 9：00～17：00

年末年始 12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2020 NTTEAST・NTTWEST



本3493-1 (2020.11)
ZX-DECL-PSトリセツ-〈1〉

4445066300 | H01